

船橋市教育委員会会議 8 月臨時会会議録

1. 日 時 令和 6 年 8 月 6 日 (火)
開 会 午後 1 時 3 0 分
閉 会 午後 5 時 1 4 分
2. 場 所 市役所 1 1 階 大会議室
3. 出席委員

教 育 長	松 本 淳
教育長職務代理者	小 島 千 鶴
委 員	朝 倉 暁 生
委 員	蓮 池 政 貴
委 員	大 塚 佳 子
4. 出席職員

教育次長	村 田 真 二
管理部長	鈴 木 寿 雄
学校教育部長	日 高 祐一郎
教育総務課長	田 島 正 則
指導課長	筒 井 浩 美
指導課課長補佐	森 貴 俊
指導課	小 倉 めぐみ
指導課	寺 田 維 乃
指導課	井 川 富美子
指導課	白 土 幸 子
指導課	日野原 岳 二
指導課	大 塚 咲 子
指導課	保 坂 正太郎
指導課	強 田 裕 一
指導課	土 岐 康 峰
指導課	鳴 海 剛 史
保健体育課	蕪 木 誠
総合教育センター所長	太 田 由 紀
教育支援室長	金 子 勝 一
市立船橋高校教頭	西 川 徳 郎
市立船橋高校	祐 貴 之

5. 議 題

第1 議決事項

議案第39号 令和7年度船橋市立小・中学校使用教科用図書並びに船橋市立特別支援学校及び船橋市立小・中学校特別支援学級使用教科用図書の採択について

議案第40号 令和7年度船橋市立船橋高等学校使用教科用図書の採択について

6. 議事の内容

【教育長】

それでは、ただいまから教育委員会会議臨時会を開会いたします。

本日の会議の開催に当たりまして、会議を傍聴したい旨、80名の申込みがございましたので、全員の傍聴を認めることといたします。

傍聴人の方にお願いがございます。

お渡しいたしました傍聴券の裏側に記載されております傍聴人の遵守事項についてお守りいただき傍聴されるようお願いいたします。

それでは、議事に入ります。

議案第39号について指導課、説明願います。

指導課長。

【指導課長】

それでは、議案第39号「令和7年度船橋市立小・中学校使用教科用図書並びに船橋市立特別支援学校及び船橋市立小・中学校特別支援学級使用教科用図書の採択について」ご説明いたします。

令和7年度に船橋市立小・中学校並びに特別支援学校小学部、中学部並びに小・中学校の特別支援学級で使用する教科用図書を採択するに当たり、船橋市教育委員会組織規則第3条第15号の規定に基づき、教育委員会会議において議決を得る必要があるため、本議案を提出いたします。

令和6年6月3日付、千葉県教育委員会教育長発通知、義務教育諸学校における令和7年度使用教科用図書の採択についてにより、以下の指導及び助言がございました。

令和7年度において、1. 小学校用教科用図書については、附則9条図書を使用する場合を除き、基本的に令和5年度と同一の教科用図書を採択しなければならないこと。

2. 中学校用教科用図書については、学校教育法等の一部を改正する法律による改正後の学校教育法附則第9条第1項の規定による教科用図書である附則9条図書を使用する場合を除き、令和7年度使用中学校用教科用図書目録に搭載されている教科書のうちから採択しなければならないこと。

3. 特別支援学校の小学部については、附則9条図書を除き、基本的に令和5年度と

同一の教科用図書を採択しなければならないこと。

4. 特別支援学校の中学部については、附則9条図書を除き、特別支援学校用教科書目録令和7年度使用に搭載されている教科書のうちから採択しなければならないこと。

5. 附則9条図書の採択については、千葉県教育委員会の作成した選定資料を生かし、児童・生徒用の教科の主たる教材として、教育目標を達成する上で適切な図書を採択することとなっております。

次に、教科用図書採択の公正確保についてです。

教科用図書選定に係る委員、または調査員等の選定に当たっては、特定の教科書発行者と関係を有する者が関与することのないように留意すること。

教科書発行者に限らず、外部からの働きかけに左右されることなく静ひつな環境を確保し、採択権者の判断と責任において公正かつ適正な採択を行うこと。

教科書採択に係る教育委員会の会議を行うに当たっては、静ひつな審議環境の確保等の観点から検討を行い、会議の公開、非公開を適切に判断するとともに、傍聴に関するルールを明確に定めておくこと。外部からの不当な働きかけにより、公正確保に関し問題が生じていると考えられる場合には、適切な措置を講ずるとともに、速やかに千葉県教育委員会に報告すること。

十分な審議や調査研究を経ず、これまでの慣例のみによって決定されたり、事実上、一部の特定の教員のみによって決定されたりするなど、採択権者の責任が不明確になることがないように、採択手続の適正化に努めること。

そのほか、教科書の採択に関する情報の積極的な公表に努めること。教育委員会の教育長及び委員が十分な時間的余裕を持って教科書見本を閲覧し、吟味する環境を整えること。

主な指導及び助言の内容は以上でございます。

これらを踏まえ、本年度、教育委員の皆様は採択についてのご審議をお願いするのは、令和7年度使用の中学校、特別支援学校及び特別支援学級で使用する教科用図書についてとなります。

なお、小学校用の教科書につきましては、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第14条により、採択したものを原則4年間、毎年度、種目ごとに同一の教科用図書を採択することとなっております。これまでのところ、本市において、令和5年に採択した小学校教科用図書につきましては問題なく使用されていることから、昨年度採択し、本年度も使用している教科書を採択していただくこととなりますので、はじめにそちらの採択をお願いいたします。

【教育長】

ただいま説明がございました件について、県の指導もでございますので、小学校教科用図書については、資料別表1の掲載の教科用図書を継続採択をすることとしてご異議ご

ざいませんか。

【各委員】

異議なし。

【教育長】

異議なしと認めます。

令和7年度使用小学校教科用図書は、全種目において令和6年度と同一の教科用図書を採択することといたします。

続きまして、中学校教科用図書と特別支援学校及び特別支援学級用の教科用図書の選定結果について、指導課、説明願います。

指導課長。

【指導課長】

それでは、続きまして、本年度採択についてご審議をお願いする中学校教科用図書と特別支援学校及び特別支援学級教科用図書についてご説明いたします。

本年度使用の小・中・特別支援学校教科用図書は、別表1から3のとおりでございます。

別表4は令和7年度使用の中学校教科用図書の一覧、別表5は特別支援学校及び特別支援学級用に新たに選定された図書でございます。

各教科書の調査研究の結果は、委員の皆様及び傍聴者の皆様にお配りしております令和7年度使用教科用図書調査研究報告書にございますので、そちらをご覧ください。

では、この後、令和7年度使用の中学校、特別支援学校及び特別支援学級教科用図書の選定につきまして、船橋市教科用図書選定委員会委員長である学校教育部長よりご報告させていただきます。

教育委員の皆様には種目ごとにご審議をいただくことになりますので、よろしくお願いいたします。

なお、各教科書についてのご質問につきましては、主に担当の指導主事がお答えいたします。

【教育長】

それでは、報告に移りますが、審議をしていく中で意見が割れた場合につきましては、無記名の投票を行います。事務局が投票用紙を配りますので、推薦する教科書の発行者名を記入していただきます。開票は私が行いますが、確認を職務代理者である小島委員にお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

【各委員】

異議なし。

【教育長】

それでは、投票が行われた際は、小島委員よろしく願いいたします。

それでは、審議に入ります。報告をお願いします。

学校教育部長。

【学校教育部長】

それでは、令和7年度使用の中学校、特別支援学校及び特別支援学級教科用図書の選定につきましてご報告いたします。

はじめに、本日の報告に至るまでの経緯についてご説明いたします。

令和6年3月の教育委員会会議定例会において、令和6年度船橋市教科用図書選定委員会設置要綱及び専門調査員数についてご承認いただき、4月の教育委員会会議定例会において、選定委員会委員についてご承認をいただきました。

このことを受け、5月13日に第1回船橋市教科用図書選定委員会を開催し、令和7年度使用の中学校用教科用図書及び附則9条図書について調査・研究をするため、専門調査委員会を設置いたしました。

専門調査員は、教育に対して豊富な経験を有し、各教科の教科用図書について識見を有する教職員でございます。

調査・研究に当たっては、県教育委員会が示した基本的な3観点である学習指導要領への対応、内容、造本を重視するとともに、本市の児童・生徒や教職員の実態、船橋市教育振興ビジョン・教育振興基本計画への適合等について考慮いたしました。

7月2日には第2回選定委員会を開催し、専門調査員から調査報告と質疑を行い、その結果を基に令和7年度使用の中学校教科用図書と特別支援学校及び特別支援学級で使用する教科用図書について協議し、選定をいたしました。

選定に当たっては、次の4点に特に留意しました。

1点目は、教育基本法の趣旨や学習指導要領の基本的な考え方、内容を実現する上で最もふさわしいこと。

2点目は、船橋の児童・生徒にとって学びやすいこと。

3点目は、教師にとって指導しやすいこと。

4点目は、本市の教育振興ビジョン及び教育振興基本計画に適合していることでございます。

以上が選定までの経緯でございます。

【教育長】

それでは、中学校教科用図書と特別支援学校及び特別支援学級で使用する教科用図書の審議に移りますので、教科用図書選定委員会から説明願います。

学校教育部長。

【学校教育部長】

それでは、中学校教科用図書の選定結果について申し上げます。

はじめに、数学についてご報告いたします。

選定委員会では、啓林館の「未来へひろがる数学」を選定いたしました。

調査報告書の1ページから5ページです。

ご報告いたします。

まず、東京書籍です。

表紙に「MATH CONNECT」と書いているように、数学と身の回りや社会などとのつながりを大切にした構成になっていて、SDGsや職業との関係性を紹介し、数学の有用性を実感できるようになっています。各章の単元名が学習目標で示されていることが特徴で、章の最初には生徒が疑問に感じる場面を大きなイラストで提示し、単元で身につけてほしい資質・能力を伝え、生徒が見通しを持って取り組めるよう工夫されています。また、二次元コードによるデジタルコンテンツが非常に多く、授業内や自学自習など様々な場面で使えるよう配慮されています。

次に、大日本図書です。

章の導入では、身の回りの事象を見開き2ページを使って扱っているため、視覚的にも興味関心を高めるよう工夫されています。各章の利用の課題では、問題発見と課題解決の流れを4つのステップで示すことで、見通しを持ち論理的に考えを進められるようになっています。

次に、学校図書です。

章の導入や節の導入では、キャラクターの対話を手がかりに生徒が自ら問題を発見するようになっており、Q (Question) から目標を明確に定め、身近な問題の数学化を図る流れが一貫しています。そして、学習途中の「どんなことがわかったかな」と、章末の「できるようになったこと」で学習内容を確認させ、「さらに学んでみたいこと」へつなげ、章末の「活用」や「深めよう」で主体的・対話的で深い学びの充実を図っています。各章の最初には単元名のほかに、その単元で学ぶ内容を疑問形式で示しているところにも特徴があります。

次に、教育出版です。

「問い」を持つことから学びに向かうことを大切にしています。「学びのプロセス」として問題発見から把握し、見通しを立て、解決し、振り返り、深めるまでの過程を示し、主体的・対話的で深い学びを促しています。また、数学的な見方・考え方を可視化できるように、具体的な問題の場面で働かせてほしい見方・考え方を羅針盤のマークで

示すとともに、そのよさを実感し、未知の問題に対しても同じように向き合う数学的な態度を養うよう工夫されています。

次に、選定された啓林館です。

全ての単元に利用の節を置き、「ステップ方式」の課題を設け、問題を発見し、解決する過程を意識できるようになっています。問題発見と問題解決においては、数学的な見方・考え方を「たいせつな考え方」として分かりやすく示し、数学的に考える資質・能力の向上が図られています。また、多くの言語活動の場面が設定されており、自分の考えを表現したり、他の人の意見を聞いたりして、主体的・対話的な学習に取り組めるよう工夫されています。デジタルコンテンツは、補充問題が豊富であることなどにより、数学が苦手な生徒や不登校の生徒に対しても配慮があり、充実した内容になっています。解説動画についてはナレーションに対応した字幕の説明がついていて、生徒の状況に応じた使い方ができるようになっています。

次に、数研出版です。

教科書に登場する生徒や先生のキャラクターによる対話を多く取り入れています。それにより、多様な考え方が提示され、課題解決の過程に焦点が当てられ、学習意欲の向上につながり、主体的・対話的で深い学びができるようになっています。そして、章末の「学んだことを活用しよう」では、「LINK 探究」の二次元コードから章の学習内容の発展的な課題や総合的に考える課題にアクセスできるようになっていて、深い学びの充実を図っています。また、数学的に考え説明する力を育むよう、数学的な見方・考え方を対話の中で具体的に表現しています。

最後に、日本文教出版です。

原則、見開き2ページで学習内容が区切られるように紙面構成されているため、学習内容の全体を把握しやすくなっています。巻末には切り離して使用できる「対話シート」や「ふり返しシート」が用意され、考えを伝え合う協働的な学びにより、考える力や説明する力を高め、学びを深めたり、生徒の学びの過程や変容を見とったりするための工夫があります。また、課題を考察するための数学的な見方・考え方をどのように働かせたらよいか分かるよう「大切な見方・考え方」を汎用的な表現に加えて、それぞれの学習場面に応じた具体的な表現で示しています。

専門調査員との質疑の中で、どの教科書においても主体的・対話的で深い学びの充実に向けた工夫がなされていることや全国学力・学習状況調査で課題の見られる領域等において対応していることが報告されました。

専門調査員の報告を踏まえ、選定委員で協議した結果、啓林館は、全ての単元に利用の節を置き、問題解決の過程が意識しやすいこと、全ての例や例題、章末問題について解説動画がついているなど、デジタルコンテンツが充実していること、デジタルコンテンツの充実により、ページ数や重量が7者の中で一番軽いことなどの意見があり、全員一致で啓林館の「未来へひろがる数学」を本市の中学校の数学教科書として選定いたし

ました。

以上でございます。

【教育長】

ただいま数学に関しまして説明がありましたが、何かご意見、ご質問等はございますでしょうか。

小島委員。

【小島委員】

2点伺います。生徒にとって理解しやすい工夫がなされている教科書という観点からはどうかという点と、演習問題の量に各者で差があるかという2点になります。いかがでしょうか。

【教育長】

指導課指導主事。

【指導主事】

まず、1点目の質問についてお答えします。

生徒にとって理解しやすい工夫ということですが、内容についての理解しやすい工夫については次のような特徴があります。

まず、教育出版ですが、「例」の後に基本的な確かめの問題を配置し、スモールステップで取り組めるような工夫があります。

数研出版は、本文や例の説明で生徒にとって分かりにくい箇所を詳しく説明しております。

啓林館は、基礎・基本になる「例」や「例題」の全てにデジタルコンテンツでの解説動画が準備されております。また、このデジタルコンテンツは問題把握のしやすさにもつながっています。

学び方、数学的な考え方に関しましては、教育出版の羅針盤マークを用いて数学的な見方・考え方を可視化している工夫があります。

2点目の質問にありました演習問題の量に関してですが、各教科書において大きな差はありません。

以上です。

【教育長】

そのほかいかがでしょうか。

朝倉委員。

【朝倉委員】

ご説明ありがとうございました。

小学校から中学校に上がるときに、新しい概念である負の数を理解するとか、あるいは分数の割り算というのが結構概念としては難しいかなというふうに考えます。その中で、例えば、負の数を引くところ、どの教科書も符合を変えて足すであったりとか、分数の割り算も逆数を掛けるみたいな教え方をしているところは、この方法で中学生が納得できるのかなというふうに感じました。私自身が中学校のときに、負の引き算というのは、なかなか理解できなかったのも、ちょっとどうなんだろうかと思ったんですけども、例えばなんですけれども、日本文教出版さんで1年生の29ページのところ、減法のいろんな考え方みたいなのところがあって、そういったようなところはいいなというふうに感じました。

ですので、すみません、単なる意見なんですけれども、どの教科書会社さんも新しい概念が出てくるところに関しては、なるべく多くの生徒さんがいろんなものの見方で考えられるようにしていただけるとありがたいなというふうに思いました。すみません、意見です。

【教育長】

ありがとうございます。

ほかにいかがでしょうか。

蓮池委員。

【蓮池委員】

数学は系統的な学びになっていると思うんですが、小・中の連携に意識を置いている教科書はどんな感じでしょうか。全体のイメージとしてどんな感じか、伺いたいですが。

【教育長】

指導課指導主事。

【指導主事】

それぞれの教科書で小学校との連携は意識はされております。その中で東京書籍は、中学校1年生の教科書ですが、算数と数学をつなぐための0章という単元を設けております。また、啓林館では、教科書の巻末やデジタルコンテンツで小学校の学び直しができるような工夫がされております。

以上です。

【教育長】

そのほかいかがでしょうか。

大塚委員。

【大塚委員】

啓林館の教科書を今見ていたんですけども、先ほど説明をされていた「たいせつな考え方」というところがちょっと具体的に分からなかったので、どこら辺になるのか、具体的に教えてください。

【教育長】

指導課指導主事。

【指導主事】

啓林館の数学的見方・考え方を示している「たいせつな考え方」の部分ですが、使用場面を「問題発見」と「問題解決」の2つに分けて示されています。具体的にお伝えしますと、例えば1年生の教科書65ページですが、こちらにはオレンジ色の文字で「問題発見」場面での考え方が示されております。ここには、逆向きに考えるというように示されています。

また、1年生の192ページでは、緑色で「問題解決」場面での考え方が明示されています。こちら、分類、整理するということに書かれていると思います。

以上です。

【大塚委員】

ありがとうございます。

図みたいなのが短く書いてあって、分かりやすいと思いました。ありがとうございました。

【教育長】

私のほうからなんですが、私は以前、県立中学校に勤務していたことがございまして、私は社会科の人間なんですけれども、そのときに数学の授業を見に行きました。そのときに数学科の先生が、数学というのは答えは1つなんだけれども、登り方がいろいろあるんだよ、考え方も様々、物の数え方1つとってもいろいろあるし、1つ、1個1個数えていくのとか、5個まとめて数えるのかとか、何か10個ぐらい入れ物をつくって、それで数えていくとか、いろいろあるんだよと。大切なことは、どういうふうに考えていくかというようなことだと言っていて、ああ、それはなるほどなというふうに思ったんですけども、そういう観点で見ていったらどうでしょうか。教科書を見ると、

でしょうか。

指導課指導主事。

【指導主事】

さきに挙げさせていただいた啓林館であると「たいせつな考え方」や、教育出版の羅針盤、それから、日本文教出版の「大切な見方・考え方」等が数学的な見方・考え方についての工夫として見られます。また、数研出版では、生徒や先生などキャラクターによる対話を基に多様な考え方が示されているといった工夫があります。

以上です。

【教育長】

ありがとうございます。

そのほか、何かございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、数学の教科用図書については、選定委員会が選定しました啓林館の「未来へひろがる数学」が全体的なバランスもよかったというようなことでございますので、啓林館の「未来へひろがる数学」を採択するものとしてよろしいでしょうか。

【各委員】

異議なし。

【教育長】

異議なしと認めます。

令和7年度市立中学校において使用する数学の教科用図書として、啓林館の「未来へひろがる数学」を採択いたします。

続きまして、国語について説明をお願いします。

学校教育部長。

【学校教育部長】

国語について報告します。

選定委員会では、教育出版の「中学国語」を選定しました。

調査研究報告書の6ページから8ページでございます。

ご報告いたします。

まず、東京書籍です。

各教材に「てびき」として「見通す」「つかむ」「読み深める」「考えを持つ」「振り返る」という流れで学習活動が示されております。また、「てびき」の中で各教材で

育成する資質・能力が「言葉の力」として明示されているため、授業が組み立てやすくなっています。

本編・資料編の2部構成となっており、学習指導要領の内容については本編に網羅され、資料編には「読むこと」の補充教材や学習の参考となる資料が掲載されているのが特徴です。

次に、三省堂です。

各教科における「つきたい力」が明確で、「何を学ぶのか」「どのように学ぶのか」「何ができるようになったか」がよく分かるように工夫されています。「学びの道しるべ」によって丁寧に学習過程が示され、学びのステップを明確にすることで、主体的・対話的で深い学びの実現が図られております。

「思考の方法」と「読み方を学ぼう」において、図解を用いて分かりやすく方法や読み方が示されており、学び方を習得し、積み重ねていくことで学びの実感が確かなものになり、様々な教材や場面での活用につなげることができます。

次に、選定された教育出版です。

教材に応じて、その冒頭に「学びナビ」を設定し、言語活動に取り組む中での学習の見通しや重点、思考の働かせ方を具体的に示しております。さらに、「SDGs」を国語科の視点で捉えた教材が各学年に掲載されています。また、「読むこと」教材での「みちしるべ」では交流活動を設けております。この「学びナビ」と「SDGs」「みちしるべ」により、主体的・対話的で深い学びの実現を目指しています。また、身近な情報媒体やメディアと表現について学ぶために、各学年で写真や広告・脚本などのメディアを取り上げていることが特徴です。

次に、光村図書です。

手引が見開きで示され、「見通しを持つ」「とらえる」「読み深める」「考えを持つ」「振り返る」の学習の流れが一目で分かるようになっております。特に「考えを持つ」では、必ず言語活動例が示されています。言語活動の見本も複数示されており、「言の葉ポケット」という学習活動のヒントを提示することで、生徒が選択して取り組めるよう工夫されています。

内容では、各教材の手引の中に設定された「学びへの扉」で汎用的な読みのポイントがインデックスや図解で明確に示されており、深い学びに導く具体的な手だてが分かりやすくなっております。

専門調査員との質疑の中で、各教科書とも学習指導要領の趣旨が反映されており、主体的・対話的で深い学びが実現できるよう配慮されていること、デジタルコンテンツが充実しており、自学自習や家庭学習にも活用できるという報告がありました。

専門調査員の報告を踏まえ、選定委員で協議した結果、教育出版は、学習の目標や活動のポイントが明確である、本市の子どもに合っており、さらに教員にとっても指導しやすいなどの意見があり、全員一致で教育出版の「中学国語」を本市の中学校の国語科

教科書として選定いたしました。

以上でございます。

【教育長】

ただいま国語に関して説明がございましたが、何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。

大塚委員。

【大塚委員】

どの教科書も見ていると、学習の流れというのが分かりやすいかなと思いました。いろんな文章があって、結局これで何を勉強するのかなというのが分からないことがあるんですけども、特に教育出版は最初のところに、この文章で何を勉強するかというこの身につけたい力というのをはっきり書いてあったんですけども、これは教員の方にとっても指導しやすいポイントなのかなと思いましたけれども、いかがでしょうか。

【教育長】

指導課指導主事。

【指導主事】

ご質問いただいた教育出版ですが、その教材で何を学ぶのか、どのように学ぶのかなどを冒頭で示すことで、生徒が学習に見通しを持ちながら学ぶことができるため、それは教員の指導しやすさにもつながると考えております。

以上です。

【大塚委員】

ありがとうございます。生徒さんにとって分かりやすいというのは当然ですけども、先生にとっても指導しやすいというのはすごくいいことだと思いました。

【教育長】

ほかにいかがでしょうか。

【小島委員】

国語と書写というのは連動している部分が多いのかと思うんですけども、同じ出版社同士でどのような関係になっているのか教えてください。

【教育長】

指導課指導主事。

【指導主事】

各者とも、国語と書写につながりを持たせた活動が設定されております。そのため、それぞれの特徴を生かすことで、お互いの学習効果がより高まると考えております。

以上です。

【教育長】

そのほかいかがでしょうか。

蓮池委員。

【蓮池委員】

感想なんですが、三省堂さんの「思考の方法」というのはとても面白く感じました。技能として大切な学びだと感じますし、図解されているのでとても分かりやすく感じました。

また、各者ともデジタルコンテンツが充実していて、教科書からの広がりや教科書の進化を強く感じました。

以上です。

【教育長】

そのほかいかがでしょうか。

小島委員。

【小島委員】

これまでは紙媒体で示されていたものでも、デジタルのほうがより活用しやすいとか、理解しやすい、効果的につくられているというものもやはりあるかなと思います。その点では各者とも工夫されているし、それによって教科書のページ数が削減されているところもあって、とてもそういう部分ではいいかなと思います。

【教育長】

そのほかいかがでしょうか。

朝倉委員。

【朝倉委員】

ご説明ありがとうございました。

先ほどのご説明の中で、先生にとって使いやすいということで、教材研究の蓄積もあ

る教育出版さんの教科書のよさというのは、当市においては感じました。

一方で、やっぱり各者さんともいろんな工夫をしておられて、先ほど蓮池委員からもありましたけれども、三省堂さんとか東京書籍さんとか、デジタルコンテンツがかなり充実しているような印象があります。また、光村図書さん、冒頭のところの何を学ぶかという話、先ほど大塚委員さんからお話ありましたけれども、あそこのところがある意味、先生向けっぽく書かれている出版社さんと、生徒さん向けに書かれている出版社さんと、ちょっと違いがあるなというふうに思いまして、もちろん先生向けに書かれていると、その教科のガイドみたいな使われ方をすると思いますし、生徒さん側から見れば、自分が自習するときにここで何を学ぶのかといったようなことが分かりやすいのかなということで、例えば光村図書さんなんかは、かなり生徒さん向け、寄りになっているなというふうに感じました。そういった各者さんの特徴がいろいろあると思うので、今後やはり他者さんもぜひ横に見ながら引き続き検討していったら、5年後、10年後に船橋市の教育がさらによくなると、特に国語の力というのは本当に中学生にとって重要なものだと思うので、そういう方向になっていただけることを期待したいと思います。すみません、感想です。

【教育長】

私からなんですが、観点が何点かあるんですが、子供たちが社会の変化に主体的に関わり、よりよいものにしていくために、自ら考えるということ、意見を持つことが大切だというふうに考えています。これは、船橋市の教育目標に掲げられていることなんですが、その観点からしてどうでしょうか。

指導課指導主事。

【指導主事】

どの出版社も、日常生活や社会生活の中から課題を見つける教材を取り入れております。そのため、課題解決に向かう中で自らの考えを持ち、友達と伝え合うことでより確かな考えへと発展させていくことができる学習の流れとなっております。

以上です。

【教育長】

全ての出版社でSDGsを中心に現代的な諸課題について扱われています。そういう面で、生きて働く力の育成ということにつなげていくことができるというふうに感じました。やっぱり今後の課題というんですかね、そういうところを取り上げていくということは非常に重要なことだというふうに考えています。

そのほか、何かございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、国語の教科用図書につきまして採択いたします。各者工夫され、よさもそれぞれありましたが、選定委員会が選定した教育出版で異論がございましたので、教育出版の「中学国語」を採択するものとしてよろしいでしょうか。

【各委員】

異議なし。

【教育長】

異議なしと認めます。

令和7年度市立中学校において使用する国語の教科用図書として、教育出版の「中学国語」を採択いたします。

続きまして、書写について説明をお願いします。

学校教育部長。

【学校教育部長】

書写について、ご報告します。

選定委員会では、教育出版の「中学書写」を選定しました。

調査研究報告書の9ページから11ページです。

ご報告いたします。

まず、東京書籍です。

大きな特徴として、身近な硬筆文字から課題を見だし、毛筆で確かめ、ほかの文字に生かす構成にすることで、主体的な学びを促していることが挙げられます。単元の学習で一番大事なことが一目で分かるように「書写のかぎ」を示し、文字を整えて書くための知識とこつを言葉で整理してあります。巻末の「書写活用ブック」をはじめ、全ページにわたって図やイラストを取り入れながら、生徒の文字に対する興味・関心を高める工夫がされております。

次に、三省堂です。

毛筆を学習の基本としている点が特徴となっております。毛筆で書いて習得したことを日常生活・社会生活でも活用できるように、硬筆による書き込みページを豊富に設けています。毛筆と硬筆を関連させながら、書写の技能を確実に習得できるよう配慮されております。また、学習の見通しを持ち、主体的に学習を進め、次の学習への意欲が得られる構成になっています。各教材で学習すべき内容が一目で分かるようになっており、学習のポイントを捉え、学びの振り返りがしやすくなっております。

次に、選定された教育出版です。

「書く技能を身につけ、「書くこと」「文字」について考えたい教科書」を目指した編集となっております。自分の課題について考え、解決方法を見通し、仲間と対話

しながら、書写の授業で学んだことをふだんの書く活動に生かしていくよう構成されています。

学習手順を明確化することにより主体的な学びにつながり、生徒が学習手順を確実に理解し、基礎・基本の定着を図ることができます。さらに、日常化までの流れをつかみ、「深い学び」につながる紙面構成となっております。

次に、光村図書です。

何をどう学ぶかが分かるよう、「学習の進め方」を明示し、見通しを持つことで主体的に学習に取り組むことができる紙面構成になっています。とじ込みの硬筆練習帳「書写ブック」では、毛筆での学習が硬筆の学習に生かせるよう配列されており、繰り返し学ぶことで確かな書く力を育むことができます。また、書写で身につけた書く力を各教科の学習や学校生活・日常生活に生かす教材が豊富であり、特に国語の教科書と連動した教材が各学年に設定されています。

専門調査員との質疑の中で、現代的な諸課題への対応、教科横断的な取組の工夫が重要だといった報告がありました。

専門調査員の報告を踏まえ、選定委員で協議した結果、教育出版は、国語の教科書との関連があること、小学校でも教育出版の教科書が採用されており、小・中の連携も図られることなどの意見があり、全員一致で教育出版の「中学書写」を本市の中学校の教科書として選定いたしました。

以上でございます。

【教育長】

ただいま書写に関して説明がありましたが、何かご質問、ご意見等はございますでしょうか。

蓮池委員。

【蓮池委員】

参考に伺いたいんですが、今、中学校では書写の授業数がどの程度設けられているかというのを伺いできればと思います。

【教育長】

指導課指導主事。

【指導主事】

中学校学習指導要領解説国語編には、「書写の指導に配当する授業時数は、第1学年及び第2学年では年間20単位時間程度、第3学年では年間10単位時間程度とすること」というふうに示されています。

以上です。

【教育長】

そのほかいかがでしょうか。

大塚委員。

【大塚委員】

私はこのたび教科書選定にはじめて参加させていただいて、教科書というものを久しぶりに見たんですけれども、デジタルコンテンツというのがこんなにあるんだというのを知りました。各者拝見をして、特に教育出版社のデジタルコンテンツが充実していて、資料集としても扱いやすいかなという印象を持ちました。

以上です。

【教育長】

ありがとうございます。

そのほかいかがでしょうか。

小島委員。

【小島委員】

質問になるんですけれども、デジタル機器の普及によって書くという行為自体、生徒が意義を見いだしにくい状態になっているんじゃないかと思います。そういう観点から、何か工夫されている教科書はありましたでしょうか。

【教育長】

指導課指導主事。

【指導主事】

各者とも、手書きの価値・よさについて見詰め直し、考えることを意識した教科書となっております。具体的に申し上げますと、各教科の学びや社会で生かすことを意識した学習の流れが示されております。また、豊かな文字文化に触れ、親しむための資料なども豊富に掲載されております。

以上です。

【教育長】

そのほかいかがでしょうか。

朝倉委員。

【朝倉委員】

今の小島委員さんの質問に関連するんですけども、私もなかなか書写というか、中学生にとって身近に感じづらいというか、自分事として捉えづらい、特に書くという行為がデジタルの推進によって身近でなくなったというところはあると思うんですけども、その中で、今回対象になっている教育出版さんは、例えばなんですけれども、ノートを取り方といったような項目であつたりとか、あとはポスターの作り方というのがどの教科書にも載っているんですけども、一番具体的にこういうふうにするというポイントがあつて、つまり書写が他の教科、こういうふうに活用できるよといったようなところがすごく明確になっていて、中学生目線、生徒さんの目線に立ったときに教育出版さんはとてもいいなというふうに感じました。

ほかの科目との連携とか、科目間連携というのは重要だと思って、そういったような視点が入っているのはとてもよいように感じました。

以上です。

【教育長】

そのほかいかがでしょうか。

蓮池委員。

【蓮池委員】

最近では、やっぱりパソコン、携帯が主流になっていて、文字を書くという機会が減っているんですけども、やっぱり文化として書くということに関して、もう一度上手に伝えてほしいなという気持ちがあります。私も自宅で筆書きを、心を落ち着けてちょっとやると、非常に書く字が丁寧になってくるなというふうに感じて、私も大切にしている中で、やっぱり今の子どもたちに美しい日本語の文化とか、文字の美しさを伝えてくれるような教材がうれしいなと思います。

【教育長】

そのほかいかがでしょうか。

【大塚委員】

各委員の皆さんがおっしゃっているように、今は文字を書くんじゃなくて、打つ時代になっているのかなと思うんですけども、中学生の時期というのを考えますと、個性、自分らしさみたいなものをすごく悩む時期だと思うんですね。なので、SNSについて字を打っちゃうけれども、書くということですごく自分の個性が出るというのは、昔よりもさらにそういう側面が強く出るというか、大事にされるといいなと思います。お互い

の個性を認め合いましょうというのは今言われているので、さらに手書きの価値とか、手で書く文字のよさというのを知ってもらおうというのは大事なことかなと思います。

【教育長】

私からなんですけれども、皆さんと本当に同意見でございまして、書写については書くということですよ。今なかなか書かないですよ。それから、1人1台端末で、そこで文章にしていくとか、書くことの意義というものがなかなか見いだせないというようにあるのかなというふうに思っています。思うに、そもそも縦書きですよ。学校で使っている電子黒板は、国語の先生は縦書きで書いているんですが、やっぱり横書き中心になってきているので、文字文化の継承というのは本当に大切に扱ってほしいなというふうに思っています。そういう意味で、書写の教科書というのは扱いが丁寧だなという感じています。

そのほかに何かございますか。

それでは、書写の教科用図書については、選定された教育出版で異論はないようですので、教育出版の「中学書写」を採択するものとしてよろしいでしょうか。

【各委員】

異議なし。

【教育長】

異議なしと認めます。

令和7年度市立中学校において使用する書写の教科用図書については、教育出版の「中学書写」を採択いたします。

続きまして、地理について説明をお願いします。

学校教育部長。

【学校教育部長】

地理について報告します。

選定委員会では、東京書籍の「新編 新しい社会 地理」が選定されました。

調査研究報告書の12ページから14ページです。

ご報告いたします。

まず、選定された東京書籍です。

選定された理由といたしましては、持続可能な社会の実現に向けて5つの大きなテーマを掲げ、「世界の窓」から生徒が多面的に捉えられる構成となっています。社会科の見方・考え方を働かせるために着目する点が明確に示されています。各単元に「探究課題」を示し、単元を貫く学習課題を適切に設定し、社会科の見方・考え方からその課題

を解決していく、一貫した学習過程を確立している点は、本市社会科教育で長年研究し、実践してきた内容と理念が一致しており、授業づくりに最大限生かすことができます。

次に、教育出版です。

課題解決的な学習の流れを基本とした構成となっており、歴史的アプローチや、複数の社会的事象を取り上げることで、多様な見方・考え方ができる編集となっています。地理にアプローチでは、地図帳との連携を意識しています。全体的には、基礎・基本を習得するための手だてが充実しています。見開きを読むことで、生徒はその時間に何を身につけたり、考えたりすればよいか分かるように工夫されています。

次に、帝国書院です。

教科書を活用した学びが示されています。特に現地の人々の「声」を取り扱っているのは、本書の特徴の1つです。また、写真資料は現地取材を踏まえて更新され、生徒は、その1枚から地理的分野の見方・考え方から地域の特色をつかむのに役立ちます。学習に活用する思考ツールを示すことや、単元の振り返りを見開きで取り扱い、ノートや参考書のように示すことは、生徒にとって学習しやすい工夫と言えます。

次に、日本文教出版です。

社会科の「見方・考え方」を示す見開きからは、各編の中心となる見方・考え方や、学習課題のどこに着目すればよいか分かりやすく示されています。「どのような」という学習課題を解決していくために、学び合いの場面が設定されており、対話的な学びにつながります。「まとめとふりかえり」では、振り返りについて主体的に学習に取り組む態度を明記し、生徒の目指す姿、教員の指導と評価の一体化がはっきりしています。

専門調査員との質疑の中で、「特別な支援を要する子どもやユニバーサルデザインの視点ではどうか」について、「東京書籍は、フラットなデザインとなっており、余計な情報を省きすっきりとした紙面となっている。」という報告がありました。

専門調査員の報告を踏まえ、選定委員で協議した結果、東京書籍は、持続可能な社会の実現に向けたテーマを取り扱い、探究課題として主体的に学習に取り組む手だてが明確である、本市の社会科で長年研究し、実践してきた問題解決型学習を、教員の授業改善とともに生徒も無理なく取り組むことができる、補充的・発展的資料をデジタルコンテンツで示し、生徒にとって活用しやすいものとなっているなどの意見があり、全員一致で東京書籍の「新編 新しい社会 地理」を本市の中学校社会科地理の教科書として選定いたしました。

以上でございます。

【教育長】

ただいま地理に関して説明がありましたが、何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。

朝倉委員。

【朝倉委員】

ご説明ありがとうございました。

本当に各社さんとも、今、教科書の中身もさることながら、デジタルコンテンツが充実しているんだなというふうに改めて感心したんですけれども、その中で、現行の東京書籍さんが、今ご報告もあったように、生徒にとって活用しやすいものとなっているということで、私もそう思いました。

これは感想なんですけれども、帝国書院さんがGISのジオグラフというようなコンテンツがあったりですとか、あるいは統計データ、この辺、学校で扱うのはなかなか難しいのかもしれませんが、発展学習の中でそのGISですとか統計データ、使えるようになってくると、例えば船橋の人口なんかも、実際私見てみたんですが、要するに市内の中で中央部と郊外の部分、どのくらい人口が、この分布が違うのかとか、そういうのが視覚的に捉えられやすいなというふうに感じましたので、ぜひそういったようなところがうまく使えるといいかなというふうに思いました。

以上です。

【教育長】

蓮池委員。

【蓮池委員】

私も、帝国書院さんの資料がすごく豊富でいいのかなというふうに感じましたが、そのあたりはどのようなんですか。

【教育長】

指導課指導主事。

【指導主事】

専門調査員の報告では、今、委員ご指摘のとおり、帝国書院に比べて現行の東京書籍の資料は少なく感じられるというふうにありましたが、新編のものをと見ると、学習課題に対する思考に必要な資料を厳選されている、学習指導要領にのっとって厳選されているというところで、生徒は非常に見やすく、分かりやすい。先生方にとっては扱いやすく、教えやすい、そういったメリットにつながるのではないかなと考えております。

【教育長】

蓮池委員。

【蓮池委員】

資料が多ければよいというわけではないということを理解いたしました。そういうことであれば、東京書籍でもよろしいのかなというふうに思います。

【教育長】

そのほかいかがでしょうか。

大塚委員。

【大塚委員】

地理というと、やっぱり国とかそこに住む人とか民族とか、そういうものが関係してくると思うんですけども、ふだんニュースでいろんなそれに関するようなことが現代の社会でもあると思うんですけども、そういうような課題に対しての扱いはいかがでしょうか。

【教育長】

指導課指導主事。

【指導主事】

今現在のご質問につきましては、4者とも、例えば防災ですとか人権、あと、環境など、こういった関連する題材を取り入れた編集となっております。道徳教育の関連を意識した編集や、あとは子どもたちが主体的に社会に参画するような資質・能力を養えるような配慮がなされております。

以上でございます。

【教育長】

そのほかいかがでしょうか。

小島委員。

【小島委員】

資料の豊富さというお話も出ましたけれども、各学校では副教材も使われているかと思うんですけども、そちらとのつながりや活用という観点ではいかがでしょうか。

【教育長】

指導課指導主事。

【指導主事】

副教材に関しましては、教科の主たる教科書に対して補助的に用いられるものとして、各学校の生徒の実態に応じて補助的な資料であったり、あとは発展的な資料の取扱いとのつながりが考えられます。実際の副教材の採用の有無や、採用する場合、どの出版社を取り扱うなどについては、各学校において検討が行われているものと考えています。

以上です。

【教育長】

私からの、これは意見なんですが、4者とも大きな差はないのかなというふうに感じています。子どもたちが、社会がどうなっているのかとか、そこでどう学ぶのかとか、他の分野と地図とのつながりはどうかとか、そういう点から考えていくと、東京書籍の地理的な見方・考え方を働かせて、SDGsとか持続可能な社会を踏まえる、そういう現代的な課題ですね、そういうことを踏まえて、子どもたちがすぐ、素直に探究的な学びに取り組めるような、そういうような感じになっているんじゃないかなというふうに思います。

そのほか、何かございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、地理の教科用図書について採択いたします。

選定委員会が選定した東京書籍で異論はないようでございますので、東京書籍の「新編 新しい社会 地理」を採択するものとしてよろしいでしょうか。

【各委員】

異議なし。

【教育長】

異議なしと認めます。

令和7年度市立中学校において使用する地理の教科用図書として、東京書籍の「新編 新しい社会 地理」を採択いたします。

続きまして、歴史について報告をお願いします。

学校教育部長。

【学校教育部長】

歴史について報告します。

選定委員会では、教育出版の「中学社会 歴史 未来をひらく」が選定されました。

調査研究報告書の15ページから20ページです。

ご報告いたします。

まず、東京書籍です。

「単元を貫く探究課題」を立てる導入の活動から、「学習課題」の解決を行う問いの追求、最後に「探究課題」を解決する「まとめの活動」と順を追って学習できる工夫が見られます。対話的な活動や、基礎的な技能の定着に取り組めるようになっています。単元の欄外に「チェック・トライ」の項目があり、復習や説明文の記述など文章でのまとめの練習に活用できます。

次に、選定された教育出版です。

学習のはじめに設けられた学習課題を踏まえて、歴史的分野の社会的事象を客観的に捉え、知識及び技能、思考力、判断力、表現力等を生かしながら、学習のまとめに取り組む手だてに工夫が見られます。具体的には、資料を読み取るための「THINK!」や、学習のまとめとして「確認・表現の問い」が設定され、生徒は主体的に学習できるように構成されています。また、「歴史の技」は、生徒の対話的な学びにつながります。見開きごとに掲載されている年表は、学習内容を大観できる工夫となっています。

次に、帝国書院です。

学習活動と問いが構造化されています。巻頭でタイムトラベルとして現代から時代を見る視点から、教科書を活用した学びや、歴史的な見方・考え方を分かりやすく説明し、思考ツールの活用例を紹介するなど、学びやすい工夫がなされています。「未来に向けて」というコラムを設定し、歴史の学びが未来志向に収束するように工夫されています。

次に、山川出版社です。

歴史との対話をコンセプトに、良質な資料を多く、読みやすく掲載されています。情報量が多いため、他者と比べるとフォントサイズが若干小さく感じられますが、読みにくさは感じないものです。社会的事象が与えた影響を考察していくことができるよう、教科書をしっかりと読み込むことで深い知識を身につけていける内容となっています。

次に、日本文教出版です。

見開きごとに設定されている学習課題とともに、社会的な「見方・考え方」に着目していく点を分かりやすく示しています。見開きごとの「確認」「表現」や、章ごとの「まとめとふり返し」を活用することで、知識及び技能の定着を図るとともに思考力・判断力・表現力を養えます。日本史と世界史の関係が理解しやすい構成になっています。

次に、自由社です。

古代史では、「神話」の学習の単元を設定しています。近現代史では、詳細に内容を取り扱っており、ペリー来航から日露戦争、第二次世界大戦までその傾向が見られます。全体的に、重要語句として扱う黒太文字の割合が多く、他者ではあまり見られない語句や人物も多く取り上げられています。巻頭に日本の伝統や文化に関する資料が分かりやすく扱われています。

次に、育鵬社です。

「学びのナビゲーション」により各章を構造的に捉え、課題解決学習が進められるよ

うに学びのテーマ、学び方の方法や手段、まとめ方などが示されています。各章の導入の「歴史絵巻」では、小学校の学習内容を生かして各時代を大観できるよう工夫されています。巻頭に「日本の美の形」が紹介され、日本の伝統や文化に関する資料が分かりやすく掲載されています。

次に、学び舎です。

大きく鮮明な図版は読みやすく、人々の生活に重点を置いた分かりやすい文章、多彩な図表、興味深い単元名など、各時代の特色を多面的、多角的に考察し、生徒が問いを立てやすい構成となっています。「歴史を体験する」という体験活動を取り入れています。本文に重要語句の太字を設けず、生徒の主体的な学習を妨げない工夫が見られます。

最後に、令和書籍です。

はじめの「序 国史を学ぶにあたって」では、小学校で学んだ人物と文化を振り返るなど、小中連携が意識されています。また、「グループで歴史を調べよう」では、順序立てた調べ学習の方法が解説されており、生徒の主体的な学びにつながるものです。内容は縦書きの文章を中心に構成され、社会的事象について記述した本文や注釈の分量は豊富です。

専門調査員との質疑の中で、「内容量による、教員の授業づくりや生徒の学びはどうか」について、専門調査員からは、「豊富な内容から深い学びにつながることも考えられるが、限られた時間の中で授業を行う教員にとっては扱いにくさ、生徒にとっては難しさを感じる。」とありました。また、生徒の学びやすさについて、「教育出版は、小学校の学習内容や地理的分野、公民的分野との関わりを示す工夫や、対話的な学びに取り組みやすい工夫があり、学びやすい。」という報告がありました。

専門調査員の報告を踏まえ、選定委員で協議した結果、教育出版は、単元を貫く学習課題を明記し、各時代や社会的事象について、学び方の方向性が示されていること、対話的な学びに取り組みやすい工夫がなされており、生徒の学び合いが生まれやすいこと、小学校社会科の内容との関連及び各分野相互の有機的な関連を図るために、生徒が取り組みやすい工夫がなされていることなどの意見があり、全員一致で教育出版の「中学社会 歴史 未来をひらく」を本市の中学校社会科歴史の教科書として選定いたしました。

以上でございます。

【教育長】

ただいま歴史について説明がございましたが、何かご質問、ご意見ございますでしょうか。

朝倉委員。

【朝倉委員】

ご説明ありがとうございます。

質問なんですけれども、先ほどの地理は結構デジタルコンテンツが充実している教科書が多かったんですけれども、今回の歴史のほうですと、幾つかの教科書では全く二次元コードの掲載が見られなかったりとか、結構デジタルコンテンツの取扱いに違いがあるように見受けられたんですけれども、歴史的分野を学習していく上で、デジタルコンテンツの有無というのは学習上、何か影響があるかどうか教えてください。

【教育長】

指導課指導主事。

【指導主事】

歴史的分野では、社会的事象の根拠となる史料を読み取っていく学習活動が基になります。そうしたところ、各者とも学習指導要領に準拠しました、そうした資料を精選して紙面に掲載をしております。ですので、学習への影響は、デジタルコンテンツの多さ、少なさにおいて影響はないと考えております。

【朝倉委員】

どうもありがとうございます。

【教育長】

そのほかいかがでしょうか。

小島委員。

【小島委員】

ジェンダーギャップ解消の視点で、どのように取り扱っている、各者何か違いありますでしょうか。

【教育長】

指導課指導主事。

【指導主事】

ジェンダーギャップ解消については各者とも様々な形で取り扱っておりますが、選定委員で選定されました教育出版につきましては、SDGsの目標の5、ジェンダー平等を実現しようとの視点から、歴史学習の終わりで、「日本では、女性と男性の立場はどのように違ったのだろう」と問いかけて、学習を振り返るという、そういったことを学んでいます。ほかの出版社につきましても、歴史のまとめのテーマの1つにしていたり、あと、女性と男性のそういったところ、立場の変化について、歴史について学ん

でいく、女性と社会との関わりについて取り上げているなどの特色が見られます。

以上でございます。

【教育長】

そのほかいかがでしょうか。

大塚委員。

【大塚委員】

歴史と言えば年表は大事だと思うんですけども、主に日本史はもちろん中学で学習するんだと思うんですけども、このグローバル化の時代なので、やっぱりこのときに世界がどうなっていったかというのを年表で日本史と一緒に世界史が並行して書いてあるというのは大事かなと思います。そういう意味で言うと、東京書籍と教育出版と山川出版、あと、日本文教出版の年表にはとても工夫があると思いました。あとは、高校で世界史をやるときに、そういう視点等、学習につながりやすいのかなと思いました。感想です。

【教育長】

そのほかいかがでしょうか。

小島委員。

【小島委員】

山川出版さんや令和書籍さんは歴史の題材をすごく豊富に取り扱っているなというふうに思う一方で、それを中学生が教科書として読み切れるのかどうか、教科書の扱い方というところからすると、教育出版さんがやっぱり社会科の学習の基本的な授業ですとか学習過程を踏まえてとなると、適切なのかなというふうに考えました。

【教育長】

私からなんですが、教員がどういうふうに使うかという観点で皆さんにご意見があれば、伺いたいんですが、東京書籍の「もっと知りたい」「まとめ」において、発展的な学びにつながっていったり、自分事として考えたりということで、分かりやすく、若い教員には教材研究が非常にしやすいと思います。

教育出版のほうは、「歴史の窓」で文化とのつながりを生徒自身が探っていけます。そういうような、生徒が主体的にやっていけますというような感じです。図版が非常に充実しているので、教員は授業で非常に使いやすいし、生徒も分かりやすいのかなというふうに思いまして、非常にこの2者は甲乙つけがたいかなというふうに感じているところなんですが、この点で何かご意見ございますか。

蓮池委員。

【蓮池委員】

教育出版さんは、見開きを見ると何を学んでいくのか、どのように学んでいくのかというのがすごく分かりやすく書かれて、生徒さんが入り込みやすい、主体的に学ぶのに入り込みやすい紙面だというふうに私は感じました。

【教育長】

そのほかいかがでしょうか。

朝倉委員。

【朝倉委員】

私も注目したのが、それぞれの教科書の最後のほうに、振り返りのところでいわゆる探究につながっていくような部分があるんですけども、教育出版さんのところで、私たちはこれからどのような世界を生きていくんだろうという、そういう、中学生自身が自分事として物事を考えていくようなコラムがあって、ここが本市の教育大綱にもある主権者教育の推進というところになっているのかなというふうに感じますので、私も教育出版さんの、選定委員会で選定されたとおりでよろしいかなというふうに感じました。

以上です。

【教育長】

そのほか何かございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、歴史の教科用図書について採択をいたします。

選定委員会が選定した教育出版の「中学社会 歴史 未来をひらく」を採択するものとしてよろしいでしょうか。

【各委員】

異議なし。

【教育長】

異議なしと認めます。

令和7年度市立中学校において使用する歴史の教科用図書として、教育出版の「中学社会 歴史 未来をひらく」を採択いたします。

続きまして、公民について報告をお願いします。

学校教育部長。

【学校教育部長】

公民について報告します。

選定委員会では、日本文教出版の「中学社会 公民的分野」が選定されました。

調査研究報告書の21ページから24ページです。

ご報告いたします。

まず、東京書籍です。

導入活動から探究課題を見いだす課題解決型の学習過程を取っており、単元名や学習課題にある「私たちに」という文言から、自分事として捉えるような工夫が見られます。ページ構成が統一されており、本文と資料など、どこを読んでもいけばよいのか分かりやすいつくりとなっています。全編を通して二次元コードを掲載し、デジタルコンテンツにアクセスできるようにしており、生徒や初若年層の教員にとって扱いやすいものとなっています。

次に、教育出版です。

学習指導要領の目標、内容、内容の取扱いを踏まえ、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた単元構成となっています。見開きには、他教科との関連や関連するSDGsを示し、教科等横断的な学びに活用できる工夫が見られます。巻頭に「メディア活用」や「プレゼンテーション」の学習場面を設定したり、各章の冒頭や章末に言語活動を設定したりするなど、協働的な学びにつながる構成となっています。

次に、帝国書院です。

教科書を活用した学び方が示されており、単元の見通しから単元の振り返りまで、単元を貫く問いを通した学びが分かります。知識の獲得を目指した、系統的に内容を配列した編集がなされており、イラスト「学習の前に」があることで、学習の全体像や見通しを持ちやすくなっています。社会的事象を豊富に扱っていることや、「アクティブ公民」などの特設ページで発展的、補充的内容を扱っています。

次に、選定された日本文教出版です。

現代社会の「見方・考え方」から「チャレンジ公民」までの一連の単元構成は、生徒にとっての学びやすさ、教員にとっての授業改善につながるものとなっています。課題解決に取り組むよう追求する問いを設定し、章末では「ポートフォリオ」による学びの自己調整に取り組む工夫があります。SDGs、地理的分野、歴史的分野とのつながりを意識し、課題解決型の学習過程が取られています。学習課題と、その課題を追求していくための現代社会の見方・考え方を明記していること、二次元コードの充実が見られることから、生徒の学習しやすさへの工夫が見られます。

次に、自由社です。

課題解決型の学習過程が取られており、各章末では、生徒が主体的に考え、表現でき

る場面が設定されています。注釈や「ミニ知識」コーナーが充実しており、難しい語句についても同じ見開き内で調べることができる工夫がなされています。資料は、主に文章で表現されたものが掲載されており、読んで理解することにつながります。「アクティブに深めよう」では、課題を追求できるよう工夫が見られ、教科の目標に適合しています。

最後に、育鵬社です。

生徒にとって身近な話題を導入事例として取り上げ、課題を自分事として捉えて学ぶ課題解決型の学習過程が取られています。章の学習内容を概観し、節の課題を捉え、見開きで1時間の授業展開から、章のこれから、学びを深め、まとめに向かう編集となっています。グローバル化や多様性への配慮として、問題提起につながる資料を扱っています。多くの写真や新聞記事を用いて知識や教養を身につけ、言語活動を多く取り上げています。

専門調査員との質疑の中で、「主権者教育の扱いはどうか」について、「教育出版は、本市の特色ある取組であるこども未来会議室を題材として扱っており、そのほかの題材でも多くの地方公共団体を取り上げている。」という報告がありました。

専門調査員の報告を踏まえ、選定委員で協議した結果、日本文教出版は、現代社会の見方・考え方を働かせて、単元の導入からまとめまで一連の単元構成が明確であり、生徒も教員も扱いやすいものであること、本市の特色ある取組である「こども未来会議室」を題材として取り上げるなど、様々な地方公共団体を取り扱っており、本市教育大綱「主権者教育の推進」に資すること、補足的・発展的資料を用意し、生徒の自主的な学習を支援していることなどの意見があり、全員一致で日本文教出版の「中学社会 公民的分野」を本市の中学校社会科公民の教科書として選定いたしました。

以上でございます。

【教育長】

ありがとうございました。

ただいま公民に関して説明がございましたが、何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。

小島委員。

【小島委員】

質問ですけれども、日本文教出版さんは本市のこども未来会議室を取り上げていただいているんですけれども、ほかには本市の事例を取り上げているというところは何かあるでしょうか。

【教育長】

指導課指導主事。

【指導主事】

まず、日本文教出版ではこども未来会議室について、「明日に向かって」のテーマの1つとして、地方自治に関する課題解決の学習を捉える事例として、見開きで大きく取り上げられています。ほかに本市の事例としましては、同じく日本文教出版で、2011年東日本大震災の被災地である岩手県大船渡市、そして、福島県相馬市に本市で使われていました学習バスを寄贈した事例、こういったものが紹介されております。

【教育長】

そのほかいかがでしょうか。

蓮池委員。

【蓮池委員】

主権者教育の推進に関しましては、どのような内容が取り上げられているのでしょうか。

【教育長】

指導課指導主事。

【指導主事】

主権者教育の推進に関してということで、例えば民主主義を取り扱う上で、例えば選挙を見ますと、選挙そのものの内容のほか、各者フェイクニュース、クリティカル・シンキング、あと、新聞の読み方、メディアリテラシーへの着目など、そういった特色のある取扱いが見られます。

以上です。

【教育長】

そのほかに。

朝倉委員。

【朝倉委員】

ご説明ありがとうございました。

各者さんいろいろ工夫されていると思うんですけども、今お話にあったように、日本文教出版は「チャレンジ公民」というコラムで、例えば公園づくりについて話し合おうとか、道路の拡張計画について考えようとか、まさに今お話があった自分たちのまち

の首長を選ぼうとか、そういう具体的なテーマが非常に多くて、かつ、話し合うためのツールの紹介とか、話し合い方とか、そういったようなところが具体的になっていて、生徒さんから見ても具体的に学ぶ方法が示されていて、非常に分かりやすいなというふうに感じました。すみません、感想ですが、以上です。

【教育長】

私からの意見なんですけど、公民的分野というのは現在の社会ということですよね。その事実をどう確認するとか、そこからどう探究していくか、どう活動していくかというようなことが本当に大切な学びとなってきます。そういう意味で、日本文教出版のSDGsから未来の社会を考えようということとか、SDGsから社会の課題を考えようというのは、今の社会を考えてよりよくしていこうということで、そういう意味では非常に分かりやすいなというふうに思います。これは私の意見です。

そのほかいかがでしょうか。

大塚委員。

【大塚委員】

私も意見というか感想なんですけれども、先週はじめてこども未来会議に参加させていただいて、とても生徒さんがすごくすばらしいなと思って、とてもいい取組だと思いました。そういう意味で、探究を続けるというのはこども未来会議が教科書に載っているというのはすごく意義のあることですし、何よりもふるさとがそういうふうに取り上げられて、より生徒さんが知って調べるといって、そういう船橋への思いが育つということにもつながると思います。以上です。

【教育長】

そのほかご意見ありますでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、公民の教科用図書について採択いたします。

選定委員会が選定いたしました日本文教出版の「中学校社会 公民的分野」を採択するものとしてよろしいでしょうか。

【各委員】

異議なし。

【教育長】

異議なしと認めます。

令和7年度市立中学校において使用する公民の教科用図書として、日本文教出版の

「中学社会 公民的分野」を採択いたします。

続きまして、地図の報告をお願いします。

学校教育部長。

【学校教育部長】

地図について報告します。

選定委員会では、帝国書院の「中学校社会科地図」を選定しました。

調査研究報告書の25ページから26ページです。

ご報告いたします。

まず、東京書籍です。

図版がA B判からA 4判に変更となり、扱いやすくなっています。地図資料と一般資料をじっくりと眺めることのできる紙面には、学習課題も書かれており、地図を中心とした授業が展開できるよう工夫がなされています。この学習課題は、二次元コードから解答例を確認できるようになっています。デジタル地球儀、地図クイズ、白地図などのデジタルコンテンツが用意されており、主体的に学習に取り組む工夫となっています。

次に、選定された帝国書院です。

選定された理由としましては、1つ目は、社会科の他の分野がどの発行者であっても、支障なく学習できることです。例えば、「地図で発見！」の問いは、課題解決的な学習を行うことや、主体的・対話的で深い学びが実現するための構成となっています。2つ目は、地図の読み取りやすさです。通常の4色印刷にクサ色を加えた5色刷りで印刷していること、陰影表現による立体感のある表現をしていること、土地の起伏感を捉える色彩をしていることから、より読み取りやすい編集がなされています。

専門調査員との質疑の中で、「地図の活用に向けた検索のしやすさについて」は、「両者とも工夫が見られるが、帝国書院は索引の引き方の例を示した地図見本と、世界と日本の引き方をそれぞれ示しており、より検索しやすい。」という報告がありました。

専門調査員の報告を踏まえ、選定委員で協議した結果、帝国書院は、教科等横断的な視点で編集されており、社会科の他の分野がどの発行者であっても支障なく学習できること、5色刷りの印刷、陰影表現による立体的な表現、土地の起伏感を捉える色彩から、より読み取りやすい地図になっていること、「地図で発見！」のコーナーや、索引の使いやすさなど、生徒の学びやすさへの工夫が見られることなどの意見があり、全員一致で帝国書院の「中学校社会科地図」を本市の中学校の教科用図書「地図」として選定いたしました。

以上でございます。

【教育長】

ただいま地図に関して説明がありましたが、何かご質問、ご意見はございますでしょ

うか。

蓮池委員。

【蓮池委員】

両者とも甲乙つけがたく、統計資料なんかもすごく充実していますし、主観的になってしまうかもしれないんですが、地図の見やすさという観点からだと、私は帝国書院さん、すごくすっきりというふうに感じました。感想なんですけれども、以上です。

【教育長】

私から1点質問したいんですが、日本の領域という観点、そういう観点で記述は両者どういうふうになっていますでしょうか。

指導課指導主事。

【指導主事】

両者とも、東西南北端の島、排他的経済水域、そして、領土について明記をしています。東京書籍は、見開きの地図で関連する島の写真、そして、説明が掲載されております。帝国書院では、見開きの地図とともに領土・領海・領空の説明、東西南北端の島の写真と地図、関連のある島について参照ページが記されております。

以上でございます。

【教育長】

ありがとうございます。

そのほかいかがでしょうか。

小島委員。

【小島委員】

質問です。船橋市に関するトピックの扱いはいかがでしょうか。

【教育長】

指導課指導主事。

【指導主事】

船橋市に関連のあるというところで、帝国書院では関東地方の地図の中で取掛西貝塚の掲載が行われております。

以上です。

【教育長】

そのほかいかがでしょうか。

朝倉委員。

【朝倉委員】

帝国書院さんのほうの地図なんですけれども、表が、表紙に糸がちょっと入っていて、雨に強い構成になっていて、ぜひ何か学習以外でも、旅行に行ったときとか持って、なかなか難しいと思うんですけれども、地図に親しんでもらうにはいいかなというふうに感じました。さっき、地理のところでも申し上げたんですが、帝国書院さんのデジタルコンテンツの中でGIS教材のジオグラフというのがあって、こういったようなところで地図との相性というのはとてもよいので、こういうのもぜひ学習の中で活用していただけると、さらにいいんじゃないかなというふうに感じました。

以上です。

【教育長】

そのほかいかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、地図の教科用図書について採択いたします。

選定委員会が選定した帝国書院の「中学校社会科地図」を採択するものとしてよろしいでしょうか。

【各委員】

異議なし。

【教育長】

異議なしと認めます。

令和7年度市立中学校において使用する地図の教科用図書として、帝国書院の「中学校社会科地図」を採択いたします。

続きまして、理科の報告をお願いします。

学校教育部長。

【学校教育部長】

理科について報告します。

選定委員会では、啓林館の「未来へひろがるサイエンス」を選定しました。

調査研究報告書の27ページから30ページです。

ご報告いたします。

まず、東京書籍です。

各単元だけでなく、各章に導入の課題や映像コンテンツ、ダイナミックな写真資料などが提示されており、内容の興味関心を引く工夫がされています。各章の最初と最後に「Before & After」を示し、生徒が学習の見通しを持ちやすいようになっています。学びを生かして考えられるような「活用」の項目や「結論を表現しよう」などのマークがあり、まとめる際のキーワードも明記され、記述や説明を促しやすい工夫があります。また、単元末のまとめが大変分かりやすく、学習内容の活用を図る問題が記載されています。

次に、大日本図書です。

マークの色が目立つよう配色され、注釈が両端に統一されるなどの配置の工夫により、安全面、他教科とのつながり、環境への配慮などが分かりやすく整理されています。絵や写真の配置や色遣い、囲みのデザイン、読みやすい位置での改行など、見やすく分かりやすい工夫がされています。「ことば」マークによる語句の説明が丁寧です。また、単元末には読解力に特化した問題があります。

次に、学校図書です。

教科書の全ページを二次元コードからウェブ上で見るできるようになっており、生徒自身がチャットボットを利用して質問ができるようになっています。1時間ごとの課題や、見方・考え方が分かりやすく示されていて、授業の見通しを持ち取り組みやすい構成となっています。「Can-Do List」を使って、目標設定とその振り返りができるように工夫されています。また、SDGsや脱炭素社会など環境教育について取り上げている項目が多く、SDGsとの関連については全ての各章の最初のページにマークで示されています。

次に、教育出版です。

折り込みを設けることで、探究の過程を確認しながら学習に取り組めるようになっています。「学習前の私」と「学習後の私」が各章ごとにあり、自分自身の成長を実感できるよう工夫されています。「考えよう」「活用しよう」「話し合おう」の項目があり、単元末には「活用問題」があるなど、学習の流れに沿って思考を深める工夫がされています。また、側注がなく、ルビがほかよりも多く、重要語句が色文字になっているなど、読みやすく工夫されています。

最後に、選定された啓林館です。

写真や図が分かりやすく、興味を引く工夫がされています。「探Qシート」「探Qクラブ」「Action」などで、探究的に学べる工夫がされています。二次元コードから利用できる「振り返りシート」があり、生徒に学びを振り返らせ、自己調整、粘り強い取組を見とることができるよう工夫されています。また、随所に二次元コードがあり、デジタルコンテンツが充実しています。

専門調査員との質疑の中で、5者ともに主体的・対話的で深い学びにつながるような

工夫がされており、生徒にとって身近で興味深い題材が取り上げられている、各者とも「何ができるようになったか」の振り返りもしやすい工夫がされているという報告がありました。

専門調査員の報告を踏まえ、選定委員で協議した結果、「経験の少ない先生でも扱いやすい」、「言語活動を充実させる工夫がよりされている」、「二次元コードによるコンテンツが充実している」などの理由から、啓林館と東京書籍の2者を推す意見が多く出ました。

それぞれを推す意見として、啓林館は「写真や図が大きく分かりやすい」、東京書籍は「生徒の関心を引く写真が多い」などがありました。挙手による採決を行った結果、啓林館の「未来へひろがるサイエンス」を本市の中学校の理科教科書として選定することとしました。

以上でございます。

【教育長】

ただいま理科について説明がございましたが、何かご質問、ご意見等ございますでしょうか。

小島委員。

【小島委員】

質問ですけれども、理科の教科書はどの教科書も写真もきれいで、図も見やすく工夫されていると思います。実験や観察がやはり大切になってくると思いますので、ほかの教科の教科書よりもそういう写真とか図というのは選定する上でとても大事な要素かなと思いますけれども、この観点からはいかがでしょうか。

【教育長】

指導課指導主事。

【指導主事】

ご質問にありました通り、理科では実験、観察、とても重要な要素です。そのため、実験や観察の解説であったりとか、そのほか補足資料等、理科の教科書においては大変重要な要素の1つと言えます。ですので、写真がきれいであったりとか、あと、図や表が分かりやすいということはとても大切だと思います。その点、報告でもありましたが、どの教科書会社さんも図や写真は充実していますし、配置等もよく工夫されていると感じました。

以上です。

【教育長】

そのほかいかがでしょうか。

大塚委員。

【大塚委員】

本当に先ほどおっしゃっているように、どの教科書でも写真とか図が充実していて、工夫があると思います。でも、啓林館さんの、先ほどの説明でもありましたけれども、全体として大きく見やすいかなとの印象を受けました。

【教育長】

そのほかいかがでしょうか。

朝倉委員。

【朝倉委員】

多くの教科書が、まとめて最後のほうにいわゆる問い、問題集ですね、問題みたいなものが掲載されている体裁のものが多かったんですけども、啓林館さんの、先ほどもご説明ありましたが、その「探Qシート」というのが非常に仮説思考型で、要するに、仮説をちょっと考えてみようとか、それを基に自分で試してみようといったような、仮説探求型の授業にしやすい工夫があるなというふうに感じました。その点からも、啓林館さん非常にいいなというふうに思いました。

ほかのところは、先ほども言いましたように、巻末の問題が充実していたんですけども、東京書籍さんはその問題が一番充実しているかなというふうに感じました。

以上です。

【教育長】

私から質問をさせていただきたいんですが、先ほどからよく話に出ている主体的・対話的で深い学びのために、生徒が学び方を知っているということが非常に重要なことだというふうに思っているんですが、その学んだこと、学びを振り返るということも非常に大切だなというふうに思っているんですが、その点で啓林館は二次元コードで振り返りシートがあって、自分自身でダウンロードできるようになっているので、それは非常にいいなというふうに感じます。

ただ、ほかの教科書会社も教科書のはじめにしっかりと探究的な学習ができるように学び方がまとめられている、そういう進め方も記載されている感じなんですけれども、そういう点から見るとどうでしょうか。

指導課指導主事。

【指導主事】

どの教科書会社も、生徒が最初に学び方、生徒だけじゃなくて先生も、学び方を理解できるように、巻頭に探究の流れであつたりだとか、教科書の使い方の説明をする工夫がされております。また、各者表現は違うんですが、自らの学習を振り返れるような工夫というのもされています。

以上です。

【教育長】

ありがとうございます。

そのほかいかがでしょうか。

朝倉委員。

【朝倉委員】

今のお話にも関係するんですけども、探究的な学習をしていくという上で、生徒さんがわくわくするとか、不思議だなと思うようなこと、関心を持つということがすごく理科においては重要だというふうに思うんですけども、今お話が出ているような啓林館さん、それから、東京書籍さんは、他者さんに比べても、各単元のはじめのところにばばんと印象的な写真が使ってあって、かつ、そのところにデジタルコンテンツで事前学習につながるというふうに、生徒さんの興味をうまく引くような取り上げ方がされているな、そういう工夫がされているなというふうに感じました。

以上です。

【教育長】

そのほかいかがでしょうか。

小島委員。

【小島委員】

私も啓林館さんや東京書籍の教科書はこの点充実しているなというふうに感じまして、特に東京書籍さんはやっぱり生徒の興味を引くような写真とか、漫画とかイラストとか、そういうものをよく活用されているかなというふうに思いました。

【教育長】

そのほかいかがでしょうか。

蓮池委員。

【蓮池委員】

私の時代では考えられなかったですけども、東京書籍さんや啓林館さんは単元のはじめにスタート動画というのを設けていて、タブレット、支給されていると思うんですが、そちらで見ると、またその学びの流れがそこにも書かれていて、当然、動画とかも見られるようになっていました。この辺はちょっとびっくりしましたが、すごく取っかかりやすいのかなと。この東京書籍さんと啓林館は、スタートの時点ですごく生徒さんたち、非常に明確にまず最初のインパクトを与えて、勉強に入りやすいのかなというふうに感じました。

【教育長】

その意見にはいかがですか。
指導課指導主事。

【指導主事】

生徒の興味関心を高めたり、単元のはじめに生徒に問題を見つけさせる工夫というのはとても重要なことです。この点に関しまして、どの教科書会社も工夫はされていましたが、今話題に上がっていました2者に関しましては特に工夫がされているということは選定委員会でも話題になりました。先ほどもありましたが、動画で問題をつかめるようにしている点に関しましては、この動画を参考にすることで、生徒だけでなく、経験の少ない教員でも授業がしやすくなるような工夫ではないかと思われます。

以上になります。

【教育長】

そのほかいかがでしょうか。
蓮池委員。

【蓮池委員】

追加で、現在理科の教科書は、小学校では東京書籍で、中学校では啓林館を扱っていると思うんですけども、小学校と中学校で教科書会社が変わってしまって、使いづらいついとか、そういう部分はないのでしょうか。

【教育長】

指導課指導主事。

【指導主事】

ここ数年、小学校と中学校では理科、異なる教科書会社さんを採用していますが、特に現場から使いにくいといったような声は上がってきません。逆に、同じ教科書会

社になった場合、編集が似ているという点では、もしかしたら子どもたちが慣れているというメリットが出てくるのかもしれませんが。

以上になります。

【教育長】

そのほかにいかがでしょうか。

それでは、理科の教科用図書について採択したいと思いますが、啓林館と東京書籍を推す意見がそれぞれ出たようでございます。全員一致ということではございませんので、投票を行いたいと考えます。

それでは、事務局は各委員に投票用紙を配付してください。

(投票用紙配付)

【教育長】

ただいま配られています投票用紙に啓林館か東京書籍か、どちらか一方の発行者名を記入して、投票をお願いいたします。書き終わりましたら、投票用紙を伏せてお待ちください。

(投票用紙記入)

【教育長】

それでは、投票していただきますが、まず投票箱の中に何も入っていないことを確認をお願いします。

(投票箱点検)

【教育長】

それでは、投票をお願いいたします。

(投票・開票)

【教育長】

それでは、投票の結果を発表いたします。

啓林館が3票です。東京書籍が2票ということで、令和7年度の市立中学校において使用する理科の教科用図書として、啓林館の「未来へひろがるサイエンス」を採択いたします。

それでは、ここで10分間ほど休憩を挟ませていただきますので、よろしくお願いいたします。10分後に再開をいたします。

(休 憩)

【教育長】

それでは、再開いたします。
音楽の報告をお願いします。
学校教育部長。

【学校教育部長】

音楽について報告します。
選定委員会では、教育芸術社の「中学生の音楽」を選定しました。
調査研究報告書の31ページから32ページです。
ご報告いたします。
まず、教育出版です。

学習目標を明確に示すとともに、生徒が主体的に学べるよう工夫されています。また、話し合う学習活動を豊富に示し、対話的な学びが展開されやすいよう配慮されています。多様な曲種の音楽を取り上げ、生活や社会と音楽との関連や他教科等との横断的な学習が展開できるよう工夫されています。紙面の文字や写真は大きく、ユニバーサルデザインが施され、視認性に配慮されています。

次に、教育芸術社です。

学習の狙いを分かりやすく示すとともに、生徒が主体的に学べるよう工夫されています。また、意見を交流しやすいヒントを示し、対話的な学びを引き出すよう配慮されています。多様な曲種の音楽を取り上げ、生活や社会と音楽との関連や他教科等との横断的な学習が展開できるよう工夫されています。シンプルなデザインで絵や文字が重なっておらず、ユニバーサルデザインが施され、視認性に配慮されています。

専門調査員との質疑の中で、どちらの教科書も、学習指導要領に対応して生徒が主体的に学習活動に取り組むことができるように、狙いや見通しなどが明示されている、思いや意図を持って表現するための学習内容が示され、思考力・判断力・表現力を育てる工夫がされているという報告がありました。

専門調査員の報告を踏まえ、選定委員で協議した結果、教育芸術社は、学習の狙いが分かりやすい、また、教師にとって指導しやすく、生徒にとっても学びやすい、学習の狙いが感受したことから迫るようになっており、知覚したことと結びつけられるようになっている、シンプルなデザインで絵や文字が重なっていないことから、支援を要する生徒への配慮が見られるなどの意見があり、全員一致で教育芸術社の「中学生の音楽」

を本市の中学校の音楽の教科書として選定いたしました。

以上でございます。

【教育長】

ただいま音楽に関して説明がございましたが、何かご意見、ご質問はございますでしょうか。

小島委員。

【小島委員】

質問になりますけれども、音楽の授業というところやっぱりプリントされた楽譜ですとか副読本、今だったらタブレットを活用されているかと思うんですけれども、学校現場で教科書をどのように今活用されているのでしょうか。教えてください。

【教育長】

指導課指導主事。

【指導主事】

資料の提示や楽譜を見るときに使うのはもちろんなんですけれども、最近はワークシートを教科書の構成の中に含んでいることも多くありますので、どんどん書き込んで使用しております。

以上です。

【教育長】

小島委員。

【小島委員】

追加になります。そのワークシートには、違いというものは何かあるのでしょうか。

【教育長】

指導課指導主事。

【指導主事】

例えばですけれども、オペラと歌舞伎を比較する題材があるんですけれども、それにおいて、教育出版では広く視点を与え、生徒の多様な考えを引き出すようなワークシートが入れられていたり、教育芸術社のほうでは、細かな視点を与えて、ポイントを絞った上で感じ取るような工夫がされています。

以上になります。

【教育長】

私からの意見なのですが、先ほどの学校教育部長から説明がございましたが、感受を基に知覚へと学習をつなげているということで、教育芸術社のほうが音楽の楽しさというのを感じられるんじゃないかなというふうに感じました。

そのほかに何か。

大塚委員。

【大塚委員】

インターネットの普及で、本当に聞きたい音楽がすぐにスマホで聞けるというのはいい時代になったと思うんですけども、その分、著作権というのが、知っていないと何か問題が起きることがあるんだと思うんですが、何か著作権について授業で触れることはありますか。

【教育長】

指導課指導主事。

【指導主事】

どちらの教科書も著作権について扱っております。1時間を使って授業を行うということはあまりないのですが、今おっしゃられましたように、インターネット上に音楽がたくさん今あふれている状態で、創作活動ですとか、使用する際の著作権における諸問題等をその都度取り上げて扱うようにはしております。

【教育長】

そのほかいかがでしょうか。

朝倉委員。

【朝倉委員】

両者とも見開きというか、最初の1ページのところでいろんな人物が紹介してあって、すごくその点では生徒さんたちの関心を引くんだろうなというふうに感じました。一方で、教育出版さんが全ていわゆる音楽関係者であるのに対して、教育芸術社さんのほうには俳優さんとか歌舞伎役者さんとか、いろんな人物を使っていて、音楽だけではなくて、音楽が様々な世界に広がっているというように感じさせるつくりになっているかなというふうに感じました。その点では、教育芸術社さんのほうがよいかなというふうに感じました。

以上です。

【教育長】

そのほかいかがでしょうか。

蓮池委員。

【蓮池委員】

私も感想なんですけれども、教育芸術社さんは生活と社会の中の音とか音楽、音楽文化について考える学習につながりやすいように感じました。

以上です。

【教育長】

そのほかいかがでしょうか。

それでは、音楽の教科用図書について採択をいたします。

選定委員会が選定した教育芸術社の「中学生の音楽」を採択するものとしてよろしいでしょうか。

【各委員】

異議なし。

【教育長】

異議なしと認めます。

令和7年度市立中学校において使用する音楽の教科用図書として、教育芸術社の「中学生の音楽」を採択いたします。

続きまして、器楽の報告をお願いいたします。

学校教育部長。

【学校教育部長】

器楽について報告します。

選定委員会では、教育芸術社の「中学生の器楽」を選定しました。

調査研究報告書の33ページから34ページです。

ご報告いたします。

まず、教育出版です。

学習の狙いを明確に示すとともに、生徒が主体的に学べるよう工夫されています。また、奏法を示す写真や調弦を示す楽譜を大きく提示し、見通しを持って主体的に学びながら、協働的に学習を深めていけるよう工夫がされています。学習の狙いと内容が楽器

ごとに分類され、基礎的な技能の習得から発展的な学習へ進んでいけるよう、適切な教材が配置されています。音楽的な見方・考え方を働かせながら学習できるよう、主に扱う共通事項を題材ごとに記載しています。

次に、教育芸術社です。

学習の狙いと内容が端的な言葉により一目で分かるように明確に示され、主体的・対話的に学習ができるように配慮されています。また、演奏のポイントや生徒の思いや意図を引き出すようなヒント、表現の工夫の視点を明示し、協働的な学習により学びが深まるよう工夫されています。学習の狙いと内容が楽器ごとに分類され、基礎的な技能の習得から発展的な学習へ進んでいけるよう、適切な教材が配置されています。音楽的な見方・考え方を働かせながら学習できるよう、主に扱う共通事項を題材ごとに分かりやすく記載しています。

専門調査員との質疑の中で、どちらの教科書も、学習指導要領に対応して生徒が主体的に学習活動に取り組むことができるように、狙いや見通しなどが明示されている、思いや意図をもって表現するための学習内容が示され、思考力・判断力・表現力を育てる工夫がされているという報告がありました。

専門調査員の報告を踏まえ、選定委員で協議した結果、教育芸術社は、学習の狙いが分かりやすい、また、教師にとって指導しやすく、生徒にとっても学びやすい、キャラクターのイラストや吹き出しにより音楽の特徴を捉えるヒントが示され、対話により表現の仕方を工夫していくイメージが持てるように配慮されているなどの意見があり、全員一致で教育芸術社の「中学生の器楽」を本市の中学校の器楽の教科書として選定いたしました。

以上でございます。

【教育長】

ただいま器楽に関しまして説明がございましたが、何かご質問、ご意見等はございますでしょうか。

大塚委員。

【大塚委員】

音楽の授業はそもそも楽しい授業であるべきだと思うんです。特に、楽器の演奏とかはできるだけ楽しくやってもらいたいと思うんですけれども、クラシックみたいなものもいいんですけれども、最近のやっぱり曲が入っていれば、生徒さんが興味を持てるような曲というのは何か入っているんでしょうか。

【教育長】

指導課指導主事。

【指導主事】

どちらの教科書もジブリアニメですとか、ディズニーの楽曲が取り入れられています。若干、教育芸術社が多く採用しているように感じます。

以上です。

【教育長】

そのほかいかがでしょうか。

朝倉委員。

【朝倉委員】

今の質問に関連するんですけれども、私も中学生が関心を持つような曲が載っているというのは大事なことだと思います。特に、吹けたときに身近な曲というか、知っている曲のほうで吹けた感があつたりとかすると思うので、いいと思うんですけれども、その点では、割と今の子たちに近い世代のMONGOL 800さんとか載っていた教育芸術社さんのほうが、やや中学生寄りかなというふうに感じました。

以上です。

【教育長】

そのほかいかがでしょうか。

小島委員。

【小島委員】

やはり器楽なので、デジタルコンテンツ、動画教材が一番分かりやすいのかなというふうに思うんですけれども、教育芸術社さんは楽器を扱うときの姿勢ですとか、その楽器の専門家が初歩的なところから説明するという動画のつくりになっていることに非常に好感を持ちました。

【教育長】

私からの質問なんですが、現実的な問題というか、実際に学校でもろもろ器楽でそういう演奏する時間というのはあるのかということと、様々な楽器があるんですが、これ、音楽の先生は例えば全部演奏できるかということ、そうも限らないんじゃないかなというふうに思うんですが、そういう指導がちょっと難しいという場合は、どのようにされているのかちょっとお伺いしたいと思います。

指導課指導主事。

【指導主事】

器楽の時間は少ないですが、年間指導計画の中に組み込んで行っております。

また、音楽科教諭の専門ではない楽器の指導につきましては、二次元コードの動画を活用することで、できるようになってきていると思います。

以上です。

【教育長】

ありがとうございます。

そのほかいかがでしょうか。

蓮池委員。

【蓮池委員】

これも感想なんですけれども、両者ともすごく音楽に触れるきっかけづくりというのを大切にしているなというふうに感じました。音楽だけではないんですけれども、やっぱり生徒さんたちが会えることはすごく重要で、私たちの時代とまた違う工夫がすごく教科書になされているんですけれども、関連性から考えると、音楽の教科書とつながっていたほうがいいのかなとも感じました。

以上です。

【教育長】

そのほかいかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、器楽の教科用図書について採択いたします。

選定委員会が選定いたしました教育芸術社の「中学生の器楽」を採択するものとしてよろしいでしょうか。

【各委員】

異議なし。

【教育長】

異議なしと認めます。

令和7年度市立中学校において使用する器楽の教科用図書として、教育芸術社の「中学生の器楽」を採択いたします。

続きまして、美術の報告をお願いいたします。

学校教育部長。

【学校教育部長】

美術についてご報告します。

専門調査員からの報告を踏まえ、選定委員会で協議した結果、日本文教出版の「美術」を選定いたしました。

調査研究報告書の35ページから37ページです。

ご報告いたします。

まず、開隆堂です。

3つの学びの柱に基づいた目標が設定されており、題材ごとに学習のポイントを具体的に示し、主体的・対話的で深い学びに導く配慮がされています。現代アートやアニメーションなど生徒の興味・関心を高める題材のページが充実しており、作品のテーマや狙いについて具体的にイメージできるよう工夫された紙面になっています。デジタルコンテンツも充実しており、題材制作の手順やポイント、用具の使い方の動画を見ることができ、個に応じた発展的な学びに適応しています。

次に、光村図書です。

題材ごとに表現と鑑賞の2つの側面から目標を示し、表現と鑑賞の相互関係を意識し、一体的に学ぶことができ、深い学びが生まれることに配慮した構成となっています。発想・構想の具体的な手だてと生徒による実際の制作過程を段階的に示すことにより、見通しを持って学ぶことができるように配慮しています。鑑賞作品については、版画などの作品では和紙の風合いを持つ紙を使ったり、西洋と日本の対照的な作品を比較したりするなど、鑑賞の深まりを生む工夫がされています。デジタルコンテンツも豊富で、授業の導入時に活用できる音声ガイドが用意されています。

最後に、選定された日本文教出版です。

指導と評価の一体化を図るために、3つの学びの柱に沿った目標が明確に示されています。また、鑑賞と表現の関連を図っており、題材と出会った生徒が自ら問いを持ち、主体的に学びに向かうことができるように「鑑賞の入り口」を設けています。鑑賞作品の取り上げ方に大きな特徴があり、見開きページで原寸大の掲載や、びょうぶの折り目を入れた工夫、現物と変わらないほどの発色の再現など、生徒に本物との出会いを生み、実感的な理解を図ることができる紙面になっています。二次元コードにより、作者の思いや描かれた背景を紹介する動画が鑑賞できる工夫もされています。

専門調査員との質疑の中で、3者とも学習指導要領の改訂の趣旨が反映されており、主体的・対話的で深い学びの実現に向け配慮されていること、必要な資料や参考作品が豊富であるとの報告がありました。

専門調査員の報告を踏まえ、選定委員で協議した結果、日本文教出版は、授業を組み立てていく上でポイントとなる「鑑賞の入り口」「造形的な視点」「表現のヒント」の3つのコーナーを設けており、どんな立場の教師にとっても使いやすい構成になっている、本物との出会いを生み、心を動かす鑑賞作品の取り上げ方をしているなどの意見が

あり、全員一致で日本文教出版の「美術」を本市の中学校の美術の教科書として選定いたしました。

以上でございます。

【教育長】

ありがとうございました。

ただいま美術に関しての説明がありましたが、何かご質問、ご意見等はございますでしょうか。

私から最初に1点お伺いしたいんですが、美術においては表現と鑑賞の関連を図った実践が大切なんじゃないかなというふうに考えています。そういう面で、現在中学校で実践、授業の取組、どういうふうになっているのかということをお教えいただきたいんですが。

指導課指導主事。

【指導主事】

市内の各中学校では、表現活動と鑑賞活動を強く関連づけて、指導課程の中で子どもたちの心に訴える鑑賞活動を取り入れながら授業を進めております。美術教育では、鑑賞の在り方が造形的な見方・考え方の重要な鍵となるものと捉えており、そういった視点で授業づくりを進めております。また、市民ギャラリーや文化課の学芸員と連携して、市の所蔵作品などの本物を生徒に鑑賞させることを取り入れながら、生徒の心を動かし、質の高い表現活動を生む授業を進めている学校もございます。

以上です。

【教育長】

ありがとうございます。

そのほかいかがでしょうか。

小島委員。

【小島委員】

先ほどの本物を見せるとか、そういう意味とか観点からしても、心を動かすというのがとても大事なのかなと思うんですけれども、どの教科書もそれぞれ本当いろんな工夫されて、すばらしいなと思いました。その中でも、日本文教出版さんの表紙が見開きで作品を大きく味わうことができるというのと、二次元コードで作品鑑賞の動画コンテンツに通じているというところについて、とてもすばらしいなというふうに思いました。

【教育長】

そのほかいかがでしょうか。

大塚委員。

【大塚委員】

どの教科書も今どきの芸術というか、すごく前衛的なのが載っていますし、ヨーロッパの絵画みたいなものも載っているんですけども、日本の伝統芸能みたいなもの、伝統工芸ですかね、そういうものも載っているというのは日本文教出版さんがそういう地域のことも考えているということで、いいなと思いました。感想です。

【教育長】

ありがとうございます。

そのほかいかがでしょうか。

朝倉委員。

【朝倉委員】

先ほど来、デジタルコンテンツの話が出ていますが、これからの社会で、やはり多様なデジタル表現のニーズというものがますます増加していくと思います。そういった中で、今お話に出ている日本文教出版さんが、映像表現を題材として「動きで伝えるメッセージ」であったりとか、「動画で表現する」というようなところを取り上げていて、かつ、実際にその活動過程が理解できる紙面になっているという点がとてもいいなというふうに感じました。

以上です。

【教育長】

ありがとうございます。

そのほかいかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、美術の教科用図書について採択いたします。

選定委員会が選定いたしました日本文教出版の「美術」を採択するものとしてよろしいでしょうか。

【各委員】

異議なし。

【教育長】

異議なしと認めます。

令和7年度市立中学校において使用する美術の教科用図書として、日本文教出版の「美術」を採択いたします。

続きまして、保健体育の報告をお願いします。

学校教育部長。

【学校教育部長】

保健体育についてご説明いたします。

選定委員会では、東京書籍の「新しい保健体育」を選定いたしました。

調査研究報告書の38ページから40ページです。

ご報告いたします。

まず、選定された東京書籍です。

「主体的・対話的で深い学び」となるよう4つのステップで構成されています。それぞれの学習課題が見やすく提示されており、その時間に取り組むべきことや学ぶことが分かりやすくつくられています。また、習得した基礎的・基本的な知識を広げたり深めたりすることができるような資料が充実しており、今日的な健康課題を豊富に取り上げています。デジタル教材については、教科書の目次に合わせた項目立てがあり、動画や資料、学習のまとめに取り組めるようになっています。

次に、大日本図書です。

「主体的・対話的で深い学び」となるよう3つのステップで構成されています。導入のページが工夫されており、生徒が主体的に学習に取り組めるようにつくられております。日々の生活行動を振り返り、学習したことを家庭や地域などで確かめたり、調べたりできるような工夫のあるつくりになっております。また、左のページが説明、右のページが資料となっており、全体が分かりやすい構成となっております。

次に、大修館書店です。

「主体的・対話的で深い学び」となるよう3つのステップで構成されています。知識を身につけるために生徒の身近な事例が示され、自ら課題を解決できる実践的な能力と態度の育成を図るために、多くのデータが掲載されたつくりになっています。また、学習のまとめのコーナーでは、生徒の発達段階に応じて、学校や地域、家庭における事例について調べたり、話し合ったりして、生活の中で生かせるように工夫されたつくりになっています。

次に、学研です。

「主体的・対話的で深い学び」となるよう4つのステップで構成されています。健康で安全な生活について、生徒が実生活や実社会であるような場面が絵や図で示されており、具体的な体験を伴う学習を通して理解できるつくりになっています。習得した知識を活用できるようにするために思考力・判断力・表現力を高められるよう学習活動を入れたり、発展的な学習を進めるページを設けたり、自分の生活を見直すことができるよ

うに工夫されております。

専門調査員との質疑の中で、4者ともに大きさや重さに大きな差がないこと、また、ユニバーサルデザインフォント・カラーユニバーサルデザインが採用されており、見やすく使用しやすい教科書と報告がありました。

専門員の調査を踏まえ、選定委員で協議した結果、東京書籍は、全ての単元において4つのステップで統一されており学習の流れが明確で、生徒が見通しを持って学習を進めやすい工夫がなされている、生徒が地域の人と協力して活動する場面が多く掲載されており、自分の地域について調べる活動が多く設定されているなどの意見が出され、全員一致で東京書籍の「新しい保健体育」を本市の中学校の保健体育の教科書として選定いたしました。

以上でございます。

【教育長】

ありがとうございました。

ただいまの保健体育に関しての説明がございましたが、何かご質問、ご意見等ございますでしょうか。

小島委員。

【小島委員】

質問ですけれども、家庭科とも共通する内容が含まれていると思うんですけれども、学習のアプローチとして何か違いはあるのでしょうか。

【教育長】

保健体育課指導主事。

【指導主事】

保健では、食生活、災害など、家庭科と一部共通の内容があります。しかし、保健の授業では、食生活はエネルギーや栄養素を補給する役割、基礎代謝量など食生活と発育・発達の関係性の学習、災害は一次災害、二次災害について、安全確保の仕方や傷害の防止などの学習と、家庭科と共通する内容でも、自分の心と体を一体として捉え、生涯を通じて心身共に健康を保持増進するための資質・能力を育成することを目指して授業を行ってまいります。

【教育長】

小島委員。

【小島委員】

同じ内容であっても、自分の心と体を一体に捉えて、心身共に健康の保持増進という観点から学習するという、視点変わるという意味合いで、とてもいいことだと思います。ありがとうございます。

【教育長】

そのほかいかがでしょうか。

大塚委員。

【大塚委員】

先ほど、心身共にというのはもちろん理想なんですけれども、日本の子どもは体のほうは発達していいんですけれども、心のほう、精神的な幸福度というのはすごく低いという報告もあって、精神的なストレスの影響というのが言われていますけれども、その辺の対処とかはどのように扱われていますでしょうか。

【教育長】

保健体育課指導主事。

【指導主事】

中学校学習指導要領、保健体育課改訂の趣旨として、心の健康や疾病の予防に関する健康課題の解決に関わる内容、ストレス対処や心肺蘇生法などの技能に関する内容などの充実を図るとあります。心の発達や心の健康について学習を進めていき、心と体の健康は関係性が高いことを学習するとともに、具体的なストレスへの対処方法についても学ぶことになっております。

【大塚委員】

ありがとうございます。

選定された東京書籍というのは、その辺、具体的にどのように扱っていらっしゃるんですか。

【教育長】

保健体育課指導主事。

【指導主事】

巻末の「スキルブック」にリラクゼーション方法が提示されているなど、具体的な対処方法が記載されております。

【大塚委員】

ありがとうございます。

具体的に書いてあるというのはとてもいいと思います。中学生の頃は、とても不安定な時期なので、参考になると思います。ありがとうございました。

【教育長】

私からの意見になるんですが、東京書籍の教科書なんですが、各単元の最初のところで「見つける」というところがございます。日常生活の経験から、生徒自身が自他の課題発見というところに目が向くように発問が設定されています。そういう学習課題を自分のものにする、自分事とするというようなことなんですが、こういう設定の仕方というのは非常に工夫されて、いいなというふうに思いました。

そのほかいかがでしょうか。

朝倉委員。

【朝倉委員】

朝倉です。

各者の構成を見ると、保健体育の中身なんですが、保健分野と体育分野が何か順番がいろいろあるんだなということに気がつきました。その中で、東京書籍さんは保健分野を先に持ってきておられて、一般的に生徒さんたちにとったら、体育のほうが興味があるというふうに思うんですけども、あえて最初に保健分野を持つてくることで、この分野は大事なんだよという意識づけできるので、その点でいいなというふうに感じました。

以上です。

【教育長】

ありがとうございました。

そのほかいかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、保健体育の教科用図書について採択いたします。

選定委員会が選定いたしました東京書籍の「新しい保健体育」を採択するものとしてよろしいでしょうか。

【各委員】

異議なし。

【教育長】

異議なしと認めます。

令和7年度市立中学校において使用する保健体育の教科用図書として、東京書籍の「新しい保健体育」を採択いたします。

引き続きまして、技術の報告をお願いいたします。

学校教育部長。

【学校教育部長】

技術・家庭科の技術分野について報告します。

選定委員会では、東京書籍の「技術分野 未来を創るテクノロジー」を選定しました。調査研究報告書の41ページから43ページです。

ご報告いたします。

まず、選定された東京書籍です。

学習指導要領への対応では、各学習課題を通して、生徒が授業に積極的に取り組むように配慮され、「実験」や「やってみよう」などの活動を通して、他者との関わりの中で理解を深める工夫がされているとともに、音声入りデジタルコンテンツ等も多数搭載されているなど、技術への興味・関心を深め、理解を高める工夫が見られます。また、随所に「他教科リンク」マークがあるなど、学習者自身が既習事項や他教科との教科横断的なつながりが一目で分かる工夫がされています。特徴として、題材例や情報量が非常に多く、資料も充実しているため、課題解決能力を養う上で、学校の実態に応じた活用度が高いと言えます。

次に、教育図書です。

学習指導要領への対応では、生徒が主体的に取り組めるよう、話し合い活動や体験活動を取り入れられるよう工夫がされています。また、単元ごとに統一された学習の流れで構成されており、若年層や免許外指導の教員も授業展開がしやすくなっています。内容では、デジタルコンテンツ資料を掲載するとともに、本文が短く、主題も明確であり、読みやすい教科書であると言えます。特徴として、重要語句を青色で表記するなど、色覚特性や発達特性に配慮されている点、実習に使用する道具や機器の安全指導について、別冊の「スキルアシスト」にまとめられている点が挙げられます。

最後に、開隆堂です。

学習指導要領への対応では、各学習課題を通して、生徒が授業に積極的に取り組むように配慮され、適所にある「実験」や「やってみよう」などの活動を通して、他者との対話的な関わりの中で理解を深める工夫がされています。また、各小項目の最後にある「CHECK」で、自己の学びを調整し、深い学びになるよう工夫されています。内容の配置では、問題解決の流れが身につくよう、基本的な流れを押さえてから具体的な実習例を示すなど、各内容が系統的に配列されています。特徴として、「トレードオフ」

マークを随所に配置し、学んだことを活用し、問題を解決できるような技術の見方・考え方に関する態度を養う工夫があります。

専門調査員との質疑の中で、「製作や作業操作の資料が充実しているほうが、課題解決に向けて活用できる。さらに選択肢がいろいろあるほうが、生徒が興味・関心を持って取り組める。その点で、東京書籍の「未来を創るテクノロジー」は資料が豊富で情報の種類が多く、工夫されている」という報告がありました。

専門調査員の報告を踏まえ、選定委員で協議した結果、東京書籍は、各題材数が多く、題材ごとにつくり方が詳しく掲載されている、問題解決事例が豊富に用意され、統合的な問題解決の学習例も多数ある、デジタルコンテンツが独自内容かつ充実しており、分かる授業につながる、テックラボの製作工程ページやプログラミング学習が充実してるなどの意見があり、全員一致で東京書籍の「技術分野 未来を創るテクノロジー」を本市の中学校の技術・家庭科、技術分野教科書として選定いたしました。

以上でございます。

【教育長】

ありがとうございました。

ただいま技術・家庭科の技術分野に関しての説明がございましたが、何かご質問、ご意見等ございますでしょうか。

小島委員。

【小島委員】

質問になります。技術の教科書では情報モラルが取り上げられているんですけども、道徳でも同じように取り上げられていると思います。これも何かしらアプローチの違いという点ではどのような展開になっているのでしょうか。

【教育長】

指導課指導主事。

【指導主事】

技術の教科書では、3者ともに情報モラルについての内容が記載されています。道徳の授業では、あくまでも情報モラルをテーマとして道徳の狙いである人との関わり、集団や社会との関わりについての内容に迫るのに対し、技術の授業では情報モラルの概念そのものを学習するとともに、知的財産権、肖像権、著作権など法律的な面を学び、情報手段の健康的な使い方を学習するという側面があります。

以上です。

【教育長】

そのほかいかがでしょうか。

大塚委員。

【大塚委員】

技術の授業は、何か物をつくったりとか、野菜つくったりと、そういうイメージだったんですけれども、結構、さっきの話ですけれども、情報のこととかエネルギーの内容があるんだなと思いました。何か座学はちょっと生徒さんはつまらないなとか思ったりするかもしれないんですけれども、何か興味や関心を持てる工夫というのは各者あるのでしょうか。

【教育長】

指導課指導主事。

【指導主事】

技術分野の学習は、中学校ではじめてスタートするという内容でもありますので、学習指導要領の解説でも、第1学年の最初の授業で3年間の全ての内容を網羅した「身近な技術の関わり」について触れることとされています。3者ともに生徒自身が興味・関心を持って学習に取り組めるよう、教科書の最初の導入部分で、生活や社会を支える技術、技術による問題解決の流れを示すとともに、章末資料等で最新の技術革新の内容を掲載するなど工夫されたつくりになっています。

以上です。

【教育長】

そのほかいかがでしょうか。

朝倉委員。

【朝倉委員】

朝倉です。

各者さんとも非常に工夫があっていいと思うんですけれども、特に東京書籍さんの導入部分で、導入の見開きのところなんですけれども、「技術の見方・考え方」というところがあって、そこに「最適化の窓」というページがあるんですが、内容をよく見ると4つの窓に分かれていて、いわゆる経済・社会・環境というのと、プラス安全面を考えるとという記載があって、こういったようなことというのは現代社会でもいろいろ重視されていることなので、生徒さんたちにとっても分かりやすい内容かなというふうに思いました。

以上です。

【教育長】

そのほかいかがでしょうか。

蓮池委員。

【蓮池委員】

技術分野での学習内容が多岐にわたっているということなんですけれども、例えば他教科、理科とか、例えばなんですけれども、つながって部分なんかがあると思うんですが、その辺の記載はいかがなっていますでしょうか。

【教育長】

指導課指導主事。

【指導主事】

他教科との関連ということで、他教科とのリンクに関わる工夫については、まず教育図書では「関連」という表記で他教科の教科名の記載があります。続いて、開隆堂では各編の最初に関係ある「教科名と単元名」の表記があります。最後に、東京書籍では随所に「他教科リンクマーク」がありまして、他教科の教科名・学習する学年・単元名が表記をされているなど、生徒自身が既習事項や他教科とのつながりが一目で分かるようになっています。

以上です。

【教育長】

よろしいでしょうか。

そのほかいかがでしょうか。

よろしいですか。

それでは、技術科の教科用図書について採択いたします。

選定委員会が選定いたしました東京書籍を推す意見が多いように思いますので、東京書籍の「未来を創るテクノロジー」を採択するものとしてよろしいでしょうか。

【各委員】

異議なし。

【教育長】

異議なしと認めます。

令和7年度の市立中学校において使用する技術・家庭科の技術分野の教科用図書として、東京書籍の「未来を創るテクノロジー」を採択いたします。

続きまして、家庭科の報告をお願いいたします。

学校教育部長。

【学校教育部長】

技術・家庭科の家庭分野について報告します。

選定委員会では、東京書籍の「新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して」が選定されました。

調査研究報告書44ページから46ページです。

ご報告いたします。

まず、選定された東京書籍です。

家庭分野の狙いである「自立と共生」を表紙に掲げ、「自らの生活をつくる」「消費者として意思決定する」「ともに生きる」の順番で構成され、自立から共生へ向かうストーリーになるように展開されています。また、節の表題が簡潔で、はじめに何を学ぶのかが分かりやすく示され、最後は学びを生活に返し、生活につなげることができるようになっています。一番の特徴は、資料の数が豊富で、実践、いわゆる何ができるようになるかに結びつきやすい内容ということです。

次に、教育図書です。

教育図書は、「つなぐ、つながる」をテーマとして学習と暮らしをつなぎ、さらに社会や人とつなげていくことで、自立・共生する力が身につくように展開されています。生徒目線の教科書として、生活と学びをつなぐ、ほぼ原寸大の食品写真や興味を引かれる生き生きとした表情の写真、イメージしやすいイラストを掲載しています。節の最後の「振り返る」では、課題に対する自己評価とまとめが記入できるようになっており、何が身についたかが確認できる工夫がされています。

最後に、開隆堂です。

表紙に「自立し、ともに支え合う生活へ」というテーマが大きく掲げられ、中学生を応援するテーマとなっています。また、各編の最後に「持続可能な生活」について掲載され、全体を通して学習内容と環境を関連づけて取り扱い、実践的態度が身につけられるように配慮された構成となっています。また、学習内容が大きく吹き出しで示されています。教科書を活用することで、「主体的・対話的で深い学び」につながる学習内容となっています。

専門調査員との質疑の中で、どの教科書においても、3年間を見通して3つの内容、A「家族・家庭生活」、B「衣食住の生活」、C「消費生活と環境」を関連づけ、学習できるように構成され、無理なく基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図ることができているという報告がありました。

専門調査員の報告を踏まえ、選定委員で協議した結果、東京書籍は、学習課題が明確で、生徒に考えてもらいたいところに焦点を当てていること、デジタルコンテンツが323個まで増え、生徒自身が選択し、その結果をグラフ等で表すことができるなど使いやすく、魅力的なものが多いこと、資料が豊富で、さらに生徒がどのようにしたらよいかを考えさせるなど、実践に結びつきやすい資料が多いことなどの意見があり、全員一致で東京書籍の「新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して」を本市の中学校の技術・家庭科の家庭分野教科書として選定いたしました。

以上でございます。

【教育長】

ありがとうございます。

ただいま技術・家庭科の家庭分野に関しての説明がありましたが、ご質問、ご意見等はございますでしょうか。

小島委員。

【小島委員】

消費生活については公民とも共通していると思うんですけども、どのような取り上げ方の違いがあったりするのでしょうか。お願いします。

【教育長】

指導課指導主事。

【指導主事】

公民では「消費生活」、家庭分野でも「消費生活」という項目で学習を行っています。家庭科では、1年生から3年生の3年間で「家庭生活と消費」「購入・支払いと生活情報」「消費者被害と消費者の自立」について、消費者の立場から契約、商品購入のポイント、購入・支払いの方法、消費者の権利と責任等について考える学習を行っています。社会科「公民」では、3年生の後半に学習します。消費者という観点よりは経済の観点で、法律や仕組みがこうなっているという事実説明を簡潔に示してあります。

以上でございます。

【教育長】

そのほかいかがでしょうか。

蓮池委員。

【蓮池委員】

今までは開隆堂でしたけれども、今回、選定委員会で東京書籍が選定された一番大きな理由は何でしょうか。

【教育長】

指導課指導主事。

【指導主事】

専門調査員の報告では、東京書籍は資料が豊富で、その内容は生徒がどのようにしたらよいかを考えさせるものになっていること、主体的・対話的で深い学びの学習を行う上で資料を活用し、学習内容を自分事として捉えて実行すること、調べることができることは大変有意義ということでした。

以上でございます。

【教育長】

よろしいでしょうか。

蓮池委員。

【蓮池委員】

確かにご指摘のとおり、東京書籍を読んでいて、何をすればいいんだろうという学習課題が非常に明確で、実践的に見ると、私も見ていて実践的に見やすいのかなというふうに感じました。大きな理由がはっきりしていれば、この辺の変更は問題ないと思います。

以上です。

【教育長】

そのほかいかがでしょうか。

朝倉委員。

【朝倉委員】

中学校の教科書が今回、開隆堂さんから東京書籍さんに替わるということで、生徒さんが戸惑ったりすることにはならないでしょうか。

【教育長】

指導課指導主事。

【指導主事】

開隆堂は、写真や絵で小・中同じものを掲載されているものもありますが、東京書籍の写真とか絵が分かりにくいということはなく、生徒が戸惑うことはないと思います。

以上でございます。

【教育長】

朝倉委員。

【朝倉委員】

ご説明ありがとうございました。

東京書籍さんのほうが、先ほどおっしゃったようにデジタルコンテンツをはじめ、資料が豊富にあってよいということでしたので、その点では私もよいかなと思いました。

以上です。

【教育長】

そのほかいかがでしょうか。

小島委員。

【小島委員】

意見にありますけれども、質問もちょっと入ってしまいますが、開隆堂さんは災害時の調理のポイントですとか、防災についての学びについて多く記載があるように思います。やっぱり最近大きい地震があったりとか、気象状況とか、家庭科の授業の中でも防災教育を学んでおくというのは結構大事なかなと思うんですけれども、そういう観点で見た場合はいかがでしょうか。

【教育長】

指導課指導主事。

【指導主事】

確かに開隆堂のほうが、防災について、本文の記述に加えて、本文以外の特設ページで日常的な備えの重要性などの記述がされており、授業の流れとしては分かりやすくなっています。また、缶詰を使った調理実習例やパッククッキングの例もあり、非常時にも役立つ調理実習が紹介されています。

以上でございます。

【教育長】

小島委員。

【小島委員】

やはりそういう防災教育という観点から見ると、開隆堂さんも捨て難いなというふうにも思いました。意見です。

【教育長】

そのほかいかがでしょうか。

大塚委員。

【大塚委員】

私もちょっと開隆堂さん推しなんですけれども、なぜかといいますと、家庭科は今までだと、料理して、洗濯とかそういう仕方みたいなイメージだったんですけれども、先ほどの説明だと、ちゃんと自立して生活できていく、生きていく基本みたいなところを学ぶ科目なんだなというのも、なるほどと思いました。

そういう意味では、精神的な自立ということもとても大事で、それに関して開隆堂さんは最初のときに、不安定な中学生の今の状態と、自己肯定感は学生さんすごく低いと言われているので、そういう国際比較とかを書いてあるので、それがいいかなと思いました。

【教育長】

ありがとうございます。

そのほかはいかがでしょう。

それでは、技術・家庭科の家庭分野の教科用図書について採決をしたいと思いますが、開隆堂と東京書籍をそれぞれ推す意見がございました。

全員一致ではございませんので、投票を行うことといたします。

それでは、事務局、投票用紙を配付してください。

(投票用紙配付)

【教育長】

先ほど同様に、配られた投票用紙の開隆堂か東京書籍、どちらかを、発行者の記入をお願いいたします。書き終わりましたら、投票用紙のほうを伏せてお待ちください。

(投票用紙記入)

【教育長】

それでは、投票のほうをお願いいたします。じゃ、投票箱の中に何も入っていないことを確認をお願いします。

(投票箱点検)

【教育長】

それでは、投票をお願いいたします。

(投票・開票)

【教育長】

それでは、投票の結果を発表いたします。

開隆堂が2票、東京書籍が3票です。

令和7年度の市立中学校において使用する技術・家庭科の家庭分野の教科用図書として、東京書籍の「新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して」を採択いたします。

引き続きまして、外国語について説明をお願いいたします。

学校教育部長。

【学校教育部長】

外国語について報告します。

選定委員会では、東京書籍の「NEW HORIZON English Course」を選定しました。

調査研究報告書の47ページから50ページです。

ご報告いたします。

まず、選定された東京書籍です。

スモールステップの積み重ねに工夫が見られることが特徴で、ユニットごとに設けられているリード&シンクには、本文の内容について、学びを深めるための様々な設問があります。ユニットアクティビティーやステージアクティビティーでは、主体的・対話的で深い学びへつながる言語活動となるよう工夫が見られます。また、小・中連携という点におきましては、スムーズな接続となるような構成になっています。デジタルコンテンツは音声や画像だけでなく、文法の解説動画を利用することもできます。

次に、開隆堂です。

各プログラムの導入に漫画が使用され、言語材料を使う目的・場面・状況が明確に理解できます。小・中連携のための工夫としましては、小学校で習った単語と新出単語が

別々にまとめられており、言語活動の際に活用しやすくなっています。また、巻末教材が豊富で、スモールトーク表現集やアクションカード、ワードウェブは即興力の育成に効果的で、生徒が間違いやすい言語材料が分かりやすくまとめてあることが特徴です。

次に、三省堂です。

4技能5領域のバランスがよく配置されており、学びやすい構成、学びやすい題材が取り上げられています。本文では現代的な諸課題が取り上げられており、教科横断的な視点から理解を深める工夫がされています。また、デジタルコンテンツが充実しているので、家庭学習でも活用することができます。小・中連携のための工夫につきましては、音と文字を確認・整理できる工夫がされているので、スムーズに中学校への学びにつなげていくことができます。

次に、教育出版です。

スムーズな小・中接続については、小学校で培った素地を生かしながら、使える英語にシフトしていくように展開されています。また、現実的な場面に即した言語活動や、現代社会の諸問題に関する読み物教材が多く取り入れられているため、主体的・対話的で深い学びにつながる教材となっています。デジタルコンテンツについては、本文の音声、新出語句、やり取りの見本動画など様々なコンテンツが用意され、学習内容の理解を深めることができます。

次に、光村図書です。

構成に工夫が見られ、主体的な学びを促す工夫がされています。写真やタイトルを提示し、内容を想像させることでその後の学習へとつながるため、豊かな思考力・判断力・表現力の向上が期待されます。SDGsに関する題材が幅広く用意されていることも特徴の1つです。また、小・中・高接続が意識された内容になっています。小・中接続については、読むこと、書くことを段階的に進め、中・高接続については長文読解や即興のスピーキングに配慮が見られます。特別支援教育への配慮については、レイアウトや書体が全ての生徒に理解しやすいものになっています。

最後に、啓林館です。

ユニットごとに自分の考えを深め、表現する流れになっていて、深い学びを意識した構成になっています。多様な題材の活用により視野を広げ、様々なものの見方が育っていくことが期待できます。小・中接続については、小学校での既習内容が分かりやすい記載の仕方になっています。また、巻末にあるCAN-DOリストを使って自己評価、学習の振り返りを行い、見通しを持って学習を進めることができます。豊富なデジタルコンテンツについても、個別最適な学びを実現し、補助的な学習ができます。

専門調査員との質疑の中で、生徒の興味、関心を引き出すための題材設定について各者とも工夫されていることや、小・中の連携について、東京書籍は小学校の既習単語が表示されていたり、小学校の復習ができるようになっていたりして、優れているという報告がありました。

専門調査員の報告を踏まえ、選定委員で協議した結果、東京書籍は、学びを深めるための様々な設問がある、主体的・対話的で深い学びへつながる言語活動に工夫が見られる、小・中連携という点においてスムーズな接続となるような内容、構成になっている、デジタルコンテンツが充実しているなどの意見があり、全員一致で東京書籍の「NEW HORIZON English Course」を本市の中学校の外国語の教科書として選定いたしました。

以上でございます。

【教育長】

ありがとうございました。

ただいま外国語に関しての説明がございましたが、何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。

小島委員。

【小島委員】

質問になります。小学校でまずローマ字表記を習ってアルファベットに親しんで、それとは別で、英語について耳から覚える、音を中心として覚えるという学習を小学校でしてきて、中学校では英語のつづりというところで大分ギャップが生じてしまっているんじゃないかと思うんですけれども、その点に関して工夫されている教科書というのはあるのでしょうか。

【教育長】

指導課指導主事。

【指導主事】

どの教科書も発音と表記については工夫が見られます。選定された東京書籍は、具体例を多く取り上げ、分かりやすく示されていると調査員からの報告でありました。

以上です。

【教育長】

そのほかいかがでしょうか。

大塚委員。

【大塚委員】

英語の勉強は、すごく興味がないと物すごく苦痛な授業になると思うんですけれども、そういう興味を持てるような題材とか工夫というのは、各者どういう工夫があるのか教

えてください。

【教育長】

指導課指導主事。

【指導主事】

専門調査員からの報告では、各者とも現代的で興味関心を引き出すような題材を取り上げているほか、有名なスポーツ選手や偉人などを取り扱っております。教材の数に差はありますが、東京書籍、三省堂、教育出版に豊富に取り上げられているとのこと。

【教育長】

私からの意見になるんですが、先ほどからちょっと申し上げているんですが、今、初若年層、若い教員が多くなっている状況です。そういう中で、もちろん生徒が主体的に学習できるというか、こうやって使いやすいとかは第1番目に大切かと思っているんですが、教師にとって本当に使いやすいというか、指導しやすい教科書がやっぱりいいというふうに思うんですね。そういう意味で、東京書籍の教科書で言うと、指導の内容が丁寧に説明されて、細かく示されているということで、それはなかなかいいのかなというふうに感じました。

そのほかいかがでしょうか。

蓮池委員。

【蓮池委員】

どちらかという感想なんですけれども、小学校で英語を扱うようになってからもう大分たちますけれども、小学校から中学校への繰り上がりの連携はすごく大事だと思います。せっかく習ったものをさらに生かすようにつなげていくことが大切だと思うんですけれども、そういうものでいくと、やっぱり慣れている東京書籍さんでいいのかなというふうに思います。ただ、どの教科書においてもその辺のことはすごく意識して、努力しているんだなという工夫はすごく感じることができました。感想でございます。

【教育長】

そのほかいかがでしょうか。

朝倉委員。

【朝倉委員】

朝倉です。

英語は、いわゆる音読とか音声指導のところもあると思うので、デジタルコンテンツの内容が非常に重要だと思うんですけども、その点ではいかがでしょうか。

【教育長】

指導課指導主事。

【指導主事】

デジタルコンテンツは、音声だけでなく視覚的な情報もあるので、多過ぎると、生徒だけでなく指導者も混乱することが考えられます。その点から見ますと、音声と視覚情報のバランスが取れている教科書がいいのかなと思います。

【教育長】

朝倉委員。

【朝倉委員】

朝倉です。

ご説明ありがとうございました。なるほどと思いました。

全般的には、そういう意味では東京書籍さんがいいのかと思いましたが、デジタルコンテンツについては各者さん、私も全部見させていただいて、光村図書さんも非常に使い勝手がよさそうには感じました。

以上です。

【教育長】

そのほかいかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、外国語の教科用図書について採択いたします。

選定委員会が選定した東京書籍の「NEW HORIZON English Course」を採択するものとしてよろしいでしょうか。

【各委員】

異議なし。

【教育長】

異議なしと認めます。

令和7年度の市立中学校において使用する外国語の教科用図書として、東京書籍の「NEW HORIZON English Course」を採択いたします。

続きまして、特別の教科道德の報告をお願いいたします。

学校教育部長。

【学校教育部長】

特別の教科道德について、報告します。

選定委員会では、東京書籍の「新編 新しい道德」を選定しました。

調査研究報告書の51ページから55ページです。

ご報告いたします。

まず、選定された東京書籍です。

生徒に身近な題材が教材として掲載されており、学習意欲を喚起し、自ら見いだした問題について考え、議論できるよう工夫されています。いじめ問題・生命尊重の教材はユニット化され、重点的に考えられるように配慮されています。情報モラル、SDGs、性の多様性や男女格差についても学べるよう教材が配され、現代的な諸課題に対応した資質・能力が育まれるよう工夫されています。定番教材が増えるとともに、新たにNHK for schoolの教材が加わるなど、多様な教材が配されています。各教材の冒頭部には他教科関連マークが挿入され、他教科との関わりが意識できるようになっており、全ての教材から二次元コードを使用し、朗読音源やワークシート、心情円等を活用した学習活動ができ、ICTを活用した授業が期待できます。

次に、教育出版です。

教材の冒頭に導入の問いを設定し、見通しを持って主体的に学習できるように工夫されています。また、全教材に「学びの道しるべ」を設け、構造化された3つの問いで生徒の思考をサポートし、道德的諸価値について無理なく考えを深められるように工夫されています。いじめ等の人権課題、持続可能な社会、生命の尊さについて年間を通して学べるよう教材が配されており、複数の教材やコラムでユニットを組み、現代的な諸課題に対応した資質・能力が育まれるようになっております。伝統や文化、先人の業績等を取り扱った教材は生徒がなじみのある人物を取り上げ、全学年に配されています。

次に、学研です。

学びを可視化できる思考ツールや、より深く学ぶための4つのステップを通して、生徒の主体的な学習態度を育むよう工夫されています。また、教材本文の前に主題名を置かないことで、生徒が主体的に課題を発見し、生き方についての考えを深める学習ができるよう工夫されています。各教科等との関連を図った教材が配されており、SDGs、多様性、キャリアを全学年でユニット化し、1つのテーマを多面的・多角的に学ぶことを通して、現代的な諸課題に対応した資質・能力が育まれるようにし、人間としての生き方を深く考えられるよう構成されています。

次に、あかつき教育図書です。

各教材の冒頭に内容項目を示さないことで、主体的な学びを促すよう配慮されていま

す。また、問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的な学習を通して、考えを深められるよう工夫されています。各教科等との関連を図った教材が配され、取り上げられている人物も現在多くの場面で活躍していることから、生徒が関心を持ち、主体的に学ぶことが期待されます。定番教材が多い中で、いじめや人権を扱う教材を充実させています。

次に、光村図書です。

1年間の見通しを持って主体的に学習に臨めるよう工夫されており、教材末の手引には学びのテーマを明示し、様々な視点から人間としての生き方についての考えを深められるよう工夫されています。また、具体的な2つの問いが示され、多面的・多角的に考えられる内容となっています。いじめの教材は印象深く、生命の尊さを様々な側面から考えることができるようになっています。付録の小学校教材や巻末の「まなびの記録」により、生徒が自らの学びを振り返り、成長を実感できるように工夫しており、教科書に書き込むことができるのも利点です。

次に、日本文教出版です。

問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的な学習について適切な配慮がなされ、別冊の「道徳ノート」には、友達の意見や話し合いをメモすることができ、多面的・多角的に考えられるよう配慮されています。いじめや多様性に富むよりよい社会について、ユニット化した構成になっています。「自信を持つこと」「多様性」を大切にし、いじめに正面から向き合うことを特色の1つとしています。キャリア教育の理念を基に、「であう」「みつめる」「ひらく」といったテーマが学年ごとに設定されており、自立・共生に関する教材が多いのが特徴です。

最後に、日本教科書です。

教材の文末に示された問いや巻末付録のウェルビーイングカードを活用することで、他者との対話を通して、多面的・多角的に考え、学習活動が充実できるよう工夫されています。情報モラル、いじめなどについてリアルに描いた教材を配したりすることで、生徒が自分事として考えることができる内容となっています。また、生徒が自らの生き方として考えを深めることができるように3年間を系統づけて作成されており、同じ登場人物のシリーズ教材となっています。

なお、各者とも二次元コードで補足資料等を活用できるようになっていることを申し添えます。

専門調査員との質疑の中で、現代的な諸課題に対応する資質・能力を育むため、多様な教材があること、生徒が主体的に考えられる工夫があることが重要であるという報告がありました。

専門調査員の報告を踏まえ、選定委員で協議した結果、東京書籍は、教材を入れ替えたり見直したりすることで、生徒の心に響く多様な視点の教材が充実していること、他教科との関連や二次元コードが分かりやすく記載され、生徒の主体的な学びが期待でき

ること、教員にとっても教えやすい工夫があり、教材研究を充実させ、授業改善を進められることなどの意見があり、全員一致で東京書籍の「新編 新しい道徳」を本市の中学校の特別の教科道徳の教科書として選定いたしました。

以上でございます。

【教育長】

ありがとうございました。

ただいま特別の教科道徳に関しての説明がございました。何かご意見、ご質問等がございますでしょうか。

小島委員。

【小島委員】

道徳の授業は、自分の変化というものを自分自身で感じ取れるということが大事なかなと思うんですけれども、小学校の頃に扱った教材とリンクさせるですとか、そういうような工夫、あるいは教科書はあるでしょうか。

【教育長】

指導課指導主事。

【指導主事】

東京書籍、光村図書は、小学校の教材を各学年の付録に収録しておりますので、活用が可能となっております。

以上です。

【教育長】

そのほかいかがでしょうか。

蓮池委員。

【蓮池委員】

各者、いじめに対する取扱いに大変工夫している印象ですけれども、いじめについてはやっぱり現実性を持って考えることが必要じゃないかと思います。その点、東京書籍さん、中学校の教室をイラストにして、リアリティーを持った感じで分かりやすく具体的に表記してあって、これ、分かりやすいなというふうに感じました。

【教育長】

そのほかいかがでしょうか。

大塚委員。

【大塚委員】

どこの教科書も皆さん主体的、多角的、多面的にというのが本当に書いてあって、とても大事だと思います。自分の身になって考えるというのはすごく大事だと思うんですけども、改めまして、主体的に学びを進める工夫というのは、具体的にどんなふうに行っているのか教えてください。

【教育長】

指導課指導主事。

【指導主事】

各者とも様々な工夫をしております。現代的諸課題を積極的に取り上げ、話し合い活動や体験的な活動につなげる教材が多くなっています。そのほかでは、光村図書ですと、生徒自身が見通しを持ったり振り返りをしたりしやすい工夫があります。日本文教出版は、別冊ノートで自分の成長を実感できると考えます。東京書籍ですと、ソーシャルスキルに関するコラムや、輪になって対話を進める手法のp4cを取り上げています。

以上です。

【教育長】

そのほかいかがでしょうか。

朝倉委員。

【朝倉委員】

朝倉です。

どの教科書もデジタルコンテンツでいろんな補足資料を活用できるということだったんですけども、その活用方法が、東京書籍さんの場合は最初のほうの教科書の使い方という後にデジタルコンテンツで学びを広げようというところで、具体的にその利用方法が書かれていて、とてもよいなというふうに思いました。もちろんデジタルコンテンツがマストではないと思うんですけども、ここも学びとか、生徒さんたちにとって教材に対する関心を持ってもらいやすいのかなというふうに感じました。

以上です。

【教育長】

私から1点質問させていただきたいんですけども、現在使っている東京書籍の教科書と教材が入れ替わっているというようなことだったんですが、具体的にはどういうふ

うに替わったんでしょうか。

指導課指導主事。

【指導主事】

道徳の授業で長く親しまれてきた力のある定番教材を増やしました。また、様々な生き方に触れる人物教材は、現代の中学生が興味を持ちそうな人物を選んで教材化しております。友情について考える教材ですと、有名な作家による書き下ろしの教材として、3年間系統立てて掲載しております。また、NHK for schoolの教材は、紙面でも動画でも活用できるようになっており、さらに「防災道徳」として命を守ることの大切さについて考える教材が加わりました。

【教育長】

ありがとうございます。

新しい教材が加わるというか、入れ替わっていくということで、現代と、社会の状況とも合わせて替えていくということは、生徒たちの興味関心をより高めて、自分がどういう考えを持っているのか、持つのかということで、意見交換というか、道徳なので議論もできていいのかなというふうに思います。

そのほかいかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、特別の教科道徳の教科用図書について採択をいたします。

選定委員会が選定した東京書籍の「新編 新しい道徳」を採択するものとしてよろしいでしょうか。

【各委員】

異議なし。

【教育長】

異議なしと認めます。

令和7年度の市立中学校において使用する特別の教科道徳の教科用図書として、東京書籍の「新編 新しい道徳」を採択いたします。

それでは、続いて特別支援教育の教科用図書の審議に移りますので、教科用図書選定委員会から説明をお願いいたします。

学校教育部長。

【学校教育部長】

特別支援学校及び特別支援学級の教科用図書附則9条本の選定結果について報告しま

す。

まず、特別支援学校・特別支援学級の教科用図書につきまして簡単に説明させていただきます。

特別支援学校及び特別支援学級では、次の3種類の教科書から、児童・生徒一人一人の実態に合わせて選定できることとなっております。1つは文部科学省の検定済教科書、もう一つは文部科学省著作の特別支援学校用教科書、いわゆる星本、もう一つが学校教育法附則9条の規定による一般図書です。

今回、選定委員会では、学校教育法附則第9条の規定による一般図書4冊を選定しました。

「令和7年度使用教科用図書選定資料」に詳細な報告を掲載してあります。専門調査員の報告・質疑の中から、4冊それぞれの特徴についてご報告させていただきます。

まず、1冊目は算数・数学の「ブルーナのアイディアブック ミッフィーの1から10まで」です。これは、子どもたちになじみのあるミッフィーのイラストを用いており、1から10までの数に興味を持って楽しく学ぶことができます。ボールや動物など、子どもたちにとって身近なものを取り上げて、分かりやすくしています。見開きに1つの数字が扱われ、同じ表現の繰り返しであるため、分かりやすく順序立てて学習できます。

2冊目は、算数・数学の「三省堂こどもかずの絵じてん」です。これは、1から10までの集合数をイラストと文字を対応させて、10のまとまりで100までの数字と物の数え方を遊びながら自然に学ぶことができます。子どもたちに身近な食べ物や玩具、野菜や動物などを題材にしているため、興味を持って学ぶことができます。また、学習したことを生かして、カレンダーや時計、お金の数え方と段階的に発展した学習につなげることができます。

3冊目は、生活・社会の「やさしいからだのえほん1 からだのなかはどうなっているの？」です。これは、身体の部位の名称や骨格、男女の違いについて分かりやすく学習できる本です。親しみやすく、分かりやすいようにイラストを多く使用し、自分の身体と比べながら学習できるようになっています。問いかけのページの次に解説のページがあり、読みやすくなっています。文字の字体や色を工夫したり、平仮名を使用したり、片仮名にはルビがあり、配慮されています。

4冊目は、生活・社会の「あっ！そうなんだ！わたしのからだ」です。これは、入浴や排せつなど日常生活の指導の内容から性教育の指導に関する内容まで学べる本になっています。日常場面を切り取って指導できること、イラストや平仮名と片仮名で構成された文字数も適切であることなど、幅広い発達段階の子どもに合わせて使用できると思われます。

以上の理由により、4冊全てが推薦するにふさわしいと考え、選定したところでございます。

ご審議のほどよろしくお願いいたします。

【教育長】

それでは、ただいま特別支援教育の教科用図書について説明がございました。何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。

大塚委員。

【大塚委員】

ご説明ありがとうございました。

先ほどの附則 9 条本の 4 冊というのは、どのぐらいの学年を想定しているのでしょうか。

【教育長】

教育支援室長。

【教育支援室長】

算数・数学の 2 冊につきましては、小学校低学年及び特別支援学校小学部の児童が対象になると想定をしております。

また、生活・社会の 2 冊につきましては、小学校の低学年、特別支援学校小学部及び中学部の児童・生徒を想定しております。

以上です。

【大塚委員】

ありがとうございました。

【教育長】

そのほかいかがでしょうか。

朝倉委員。

【朝倉委員】

ご説明ありがとうございました。

基本的には様々な段階の生徒さんおられると思うので、選択肢が多いということが多分大事かと思います。一方で、特別支援教育の指導の経験が少ない先生もおられると思いますが、そういった経験の少ない先生でも教えやすいという工夫というのはございますでしょうか。

【教育長】

教育支援室長。

【教育支援室長】

「ミッフィーの１から１０まで」は数字と読み方が大きく書かれておりまして、数字に対応する数のイラストが描かれているために、児童と一緒に数えながら学習することができます。インデックス形式になっておりまして、復習したり、興味・関心のあるページをすぐに開いたりすることができます。

「こどもかずの絵じてん」は單元ごとに指導者向けの解説が記載されており、児童・生徒に向けて、発達段階に応じた数の指導がしやすくなっております。

「からだのなかはどうなっているの？」は巻末に指導者向けの解説がついておりまして、ページごとの学習の狙いですとか、指導の進め方が記載されております。

以上です。

【朝倉委員】

ありがとうございます。

【教育長】

そのほかいかがでしょうか。

蓮池委員。

【蓮池委員】

逆に、児童・生徒さん側から、今回選定された４冊が興味深い題材設定だとしているんでしょうか。

【教育長】

教育支援室長。

【教育支援室長】

「ミッフィーの１から１０まで」はボールですとか乗り物、動物など身近なものを取り上げておりまして、数字の読み方とか助数詞に親しみやすくなっております。

「こどもかずの絵じてん」は、１０のまとまりで１００までの数字と物の数え方をゲーム感覚で遊びながら自然に身につくように工夫がされております。

社会・生活の２冊は自分の身体に関することですので、自分の体と比較しながら、生活に即して学習ができると思われます。

以上です。

【蓮池委員】

ありがとうございます。

【教育長】

そのほかいかがでしょうか。

小島委員。

【小島委員】

授業で学ぶというのは、結局その後、自立していくという、日常生活を送っていくというような方向に生かしていくということを目的になるかと思います。そういう点で配慮している書籍というのは、いかがでしょうか。

【教育長】

教育支援室長。

【教育支援室長】

「ミッフィーの1から10まで」は、テンポよく読み進めながら助数詞を自然に身につけていくことができるということで、日常生活の中でも活用しやすいかなというふうなものになっております。

「ことばかずの絵じてん」は、学習したことを生かしてカレンダーですとか時計の読み方、お金の数え方、助数詞を自然に身につけるということができまして、日常生活の中で活用しやすくなっております。

生活・社会のほうは、自分の生活に身近な題材が取り上げられておりますので、特に「わたしのからだ」については、排せつの仕方なども学習できる内容を取り上げてございます。

以上です。

【教育長】

そのほかいかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、特別支援学校及び特別支援学級の教科用図書について採択をしたいと思っております。

本年度追加分を含む学校教育法附則第9条の規定による一般図書及び文部科学省が著作の名義を有する教科用図書を採択するものとしてよろしいでしょうか。

【各委員】

異議なし。

【教育長】

異議なしと認めます。

令和7年度の特別支援学校及び小・中学校特別支援学級において使用する教科用図書として、本年度追加分を含む学校教育法附則第9条の規定による一般図書及び文部科学省が著作の名義を有する教科用図書を採択いたします。

以上によりまして、議案第39号「令和7年度船橋市立小・中学校使用教科用図書並びに船橋市立特別支援学校及び船橋市立小・中学校特別支援学級使用教科用図書の採択について」はそれぞれの教科用図書について採択を終了し、可決されました。

続きして、議案第40号について、指導課、説明願います。

指導課長。

【指導課長】

議案第40号「令和7年度船橋市立船橋高等学校使用教科用図書の採択について」ご説明いたします。

令和7年度に船橋市立船橋高等学校で使用する教科用図書を採択するに当たり、「船橋市教育委員会組織規則」第3条第15号及び「船橋市立高等学校管理規則」第15条の規定に基づき、議決を得る必要があるため、本議案を提出いたします。

内容につきましてはこの後、船橋市立船橋高等学校教科用図書選定委員会副委員長の市立船橋高等学校教頭から説明いたしますので、ご審議のほどよろしくお願いいたします。

【教育長】

それでは、選定結果につきまして、市立船橋高等学校教頭、説明願います。

市立船橋高等学校教頭。

【市立船橋高等学校教頭】

本日、選定委員長である校長が欠席のため、副委員長である教頭が代わりにご報告いたします。

それでは、船橋市立船橋高等学校使用教科用図書の選定につきまして概要をご説明いたします。

本校は普通科、商業科、体育科の3学科を有し、さらに普通科では文系・理系・国際教養・αタイプの4つのコースの教育課程を設定し、きめ細かい指導を行っております。そのため、60冊という数になっております。

本日までの選定の経過について申し上げます。

まず、5月に教科主任を中心とした教科書研究会を開くよう依頼しました。教科書研究会においては、学習指導要領に示されている「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力」「学びに向かう力、人間性」、この3つの柱をバランスよく総合的に育むことを目指した教科書を選定しております。令和4年度より学年進行にて実施しておりました新教育課程も今年度より全学年が対象となっており、令和7年度使用教科書においては、新しく選定した教科書は、結果的にはありませんでした。

各教科で数回教科書研究会を実施した後、6月7日に保護者代表2名を含めました教科書選定委員会を開催し、選定趣旨の説明を行った上で了承を得たことから、来年度は資料のと通りの教科書を選定することとしました。

以上です。

【教育長】

ありがとうございます。

船橋市立船橋高等学校使用教科用図書について説明がございましたが、最初に私からちょっと確認させていただきたいんですが、 α コースというコースなんですが、これはどういうコースかということを確認させていただきたいんですが。

市立船橋高等学校教頭。

【市立船橋高等学校教頭】

α 類型ですが、いわゆる難関大学と呼ばれている大学や、一般大学受験での大学進学を目指しているコースでございます。多様化している大学受験に対応できるよう、選択科目を多く準備しているため、一部、 α コースで科目名の表記が異なる場合がございます。

以上でございます。

【教育長】

ありがとうございます。

説明によると、昨年度と同じ教科書ということなんですが、各教科の研究会を開催していただいた中で議論になったこと、課題になったことというようなことは、大学入試の制度が変わってきていますので、そういう面で何かあったんでしょうか。

市立船橋高等学校教頭。

【市立船橋高等学校教頭】

新教育課程が本年度から全学年を対象としていることから、教科書の選定において、各教科で特に議論が上がったという話は聞いておりませんが、慎重に検討はしたと報告を受けております。

以上です。

【教育長】

ありがとうございます。

そのほかいかがでしょうか。

小島委員。

【小島委員】

質問です。

同じ教科書ということにはなるんですけども、ソフトウェア活用ですとか、特に商業科で使われるような教科書、デジタル関係のものとか、そういうものは多分ほんのちょっと時間がたっただけで、大分陳腐化してしまうというおそれがある領域なのかなと思っているんですけども、その点はどうなんでしょうか。

【教育長】

市立船橋高等学校教頭。

【市立船橋高等学校教頭】

お答えいたします。

特に問題はないと考えております。商業の多くの科目では、最新の事例・コラムが掲載されており、事例と関連づけて学習ができる教科書を選定することとしております。また、ソフトウェアやプログラミング、こういった科目では、なぜ、何のためにそれらを活用するのが重要であり、そのためには具体的な場面設定がされ、課題を解決するための様々な内容を学習できる教科書を選定することとしております。それぞれの科目において、必要に応じて補足説明等をしっかりとしながら補っております。

以上です。

【教育長】

そのほかいかがでしょうか。

朝倉委員。

【朝倉委員】

ご説明ありがとうございます。

ざっと見て、それぞれの科目で本当にスタンダードな会社さんを選定されていて、まあまあいいなというふうに感じました。一方で、デジタルコンテンツの使用については、特に自宅での使用状態について、高校生とかになるとアルバイトする人もいるだろうし、

いろんな生活時間とかあると思うので、自宅での使用等をどういうふうに促しておられるのか、使う人、使わない人がいると格差ができてしまうような気がするので、その辺のサポート体制等についてお伺いさせてください。

【教育長】

市立船橋高等学校教頭。

【市立船橋高等学校教頭】

お答えいたします。

1人1台端末がありますので、利用する環境も整っております。各教科において、例えば二次元コードによる教科書内容の理解の補助、また、自学自習をサポートするデジタルコンテンツ、ICT機器の活用を念頭に置きながら教科書を選定をしております。そのため、授業の中で使用する機会が着実に増えております。また、1人1台端末を有効活用して、例えば宿題の取組状況をしっかり管理する先生方もいます。

以上です。

【教育長】

朝倉委員。

【朝倉委員】

ご説明ありがとうございました。

高校生になってくると、その先大学に行ったりとか、あるいは社会へ出て、またさらに学ぶ機会が、特にスマホとかそういうデジタルコンテンツでというような場面が多くなってくると思います。ですので、高校生のうちからそういったデジタル学習に慣れるように進めていただければと思いますので、どうぞよろしくお願いします。

【教育長】

そのほかいかがでしょうか。

小島委員。

【小島委員】

英語についてなんですけれども、今の中学生、高校生になると、もうオンラインゲームで英語でチャットしながらなどとか、そういうものも本当に日常の風景になっているかと思います。また、市船だと国際教養コースもあったり、あるいは、世界を目指す体育科の生徒さんもいらっしゃるという、そういうようなことを考えると、何か高度な内容というよりは、より実践的な内容を踏まえたものを選ばれるのがいいのかなと

思うんですけれども、この点はどのように選ばれているのでしょうか。

【教育長】

市立船橋高等学校教頭。

【市立船橋高等学校教頭】

お答えいたします。

英語科では、生徒の学力に合った内容であること、そして、題材がバランスよく選択されており、興味・関心を持って学習が進められるように配慮されていること、二次元コードからリスニングの読み取りができ、生徒自身が発音やアクセントをその場で確認できること、社会問題に即した内容で生徒に考えさせる、そういった内容であること、また、ディベートやプレゼンテーションなど、パフォーマンステストの材料に適していること、このようなものが教科書の選定理由となっております。

また、本校には、お話のあったとおり国際教養コースがございます。語学研修に参加することやALTさん、留学生との交流の機会が設置されており、実践的なコミュニケーション能力を身につけるだけでなく、国際的な視野や国際感覚を養うことができるように、教科書を効果的に活用しております。

以上です。

【教育長】

それでは、私のほうから、国際的な視野や感覚を養うことができるのは非常に大切なことだと思っているんですが、要は現状を理解することも大切なんだけれども、それだけで終わってしまっては駄目だということだと思うんですね。本当にグローバルな視点、それから多様性の社会、そういう中で、自分自身がそれを認識をして、どう活動するか、どう社会に参画していくか、そういうことを学んでいくことが、新しく公共という形で出てきているんだと思うんですけれども、教科書の中で帝国書院の公共は非常によくできているなというふうに思っているんですが、その使い方は今後どうなっていくのかとか、子どもたち、生徒の実態から、先生方の指導観が非常に重要だろうというふうに考えているんですが、その点はどうでしょうか。

市立船橋高等学校教頭。

【市立船橋高等学校教頭】

お答えいたします。

地歴公民科ですが、公共の教科書選定の理由に、現代社会の具体的な課題を扱っていること、課題に対する様々な立場の人の意見や主張を数多く取り上げること、また、物事を多角的・多面的に考察する力、社会参画に向けた力が養えるように配慮しているこ

と、また、デジタルコンテンツの充実などを挙げております。最新の具体的事例や高校生の活動事例、こういったものが数多く扱われることで興味関心が高められ、学びを社会に生かす姿勢を育むこと、そして、各分野がバランスよく配置されており、分かりやすいテキストと高い資料性で基礎から応用まで幅広い学習に対応できるものと考えております。

以上です。

【教育長】

ありがとうございます。

高校生だと、すぐ社会に出て、また、大学進学をするなど、自分で何を選択していくかということは非常に重要になってくると思いますので、よろしくお願いいたします。

そのほかに何かございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、議案第40号「令和7年度船橋市立船橋高等学校使用教科用図書の採択について」を採決いたします。

全科目の教科用図書について、令和7年度使用高等学校用選定教科書一覧のとおり採択するものとしてよろしいでしょうか。

【各委員】

異議なし。

【教育長】

異議なしと認めます。

議案第40号「令和7年度船橋市立船橋高等学校使用教科用図書の採択について」は、全科目の教科用図書について令和7年度選定教科書一覧のとおり採択し、可決いたしました。

それでは、本日予定しておりました議案等の審議は、これで全て終了いたします。

これで教育委員会会議臨時会を閉会いたします。

どうもありがとうございました。

午後5時14分閉会